

北海道保育士実態調査

【調査結果報告書】

平成28年6月

北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課

実態調査の趣旨

平成 27 年度から、子ども・子育て支援新制度がスタートし、待機児童の解消に向け、保育所等の計画的な整備が進んでいるが、一方で保育のニーズが拡大するとともに多様化してきており、保育を担う人材確保が課題となっている。

道内の保育士は、指定養成施設において養成されているほか、道が実施する保育士試験によっても確保されているが、有効求人倍率が高い状況にあること、また、今後とも高い需要が見込まれることから、道では、保育士の就労定着や潜在保育士の就労・再就労を図る有効な方策を検討するため、現場の保育士や潜在保育士の声を聞き、実態を把握することとして、平成 27 年 12 月、保育士に対して初めて直接的に意見などを聴取する「北海道保育士実態調査」を実施した。

調査後は、単純集計に加え、保育士として就労している方の就労定着や潜在保育士の就労・再就労に必要な課題分析を行うため、①現在保育士として就労中の方、②過去に保育士として就労した経験のある方、③保育士としての就労経験がない方、の 3 分類でクロス集計を行い、課題分析を行ってきた。

道としては、これらの調査結果を今後の保育士確保対策の基礎資料として活用するものである。

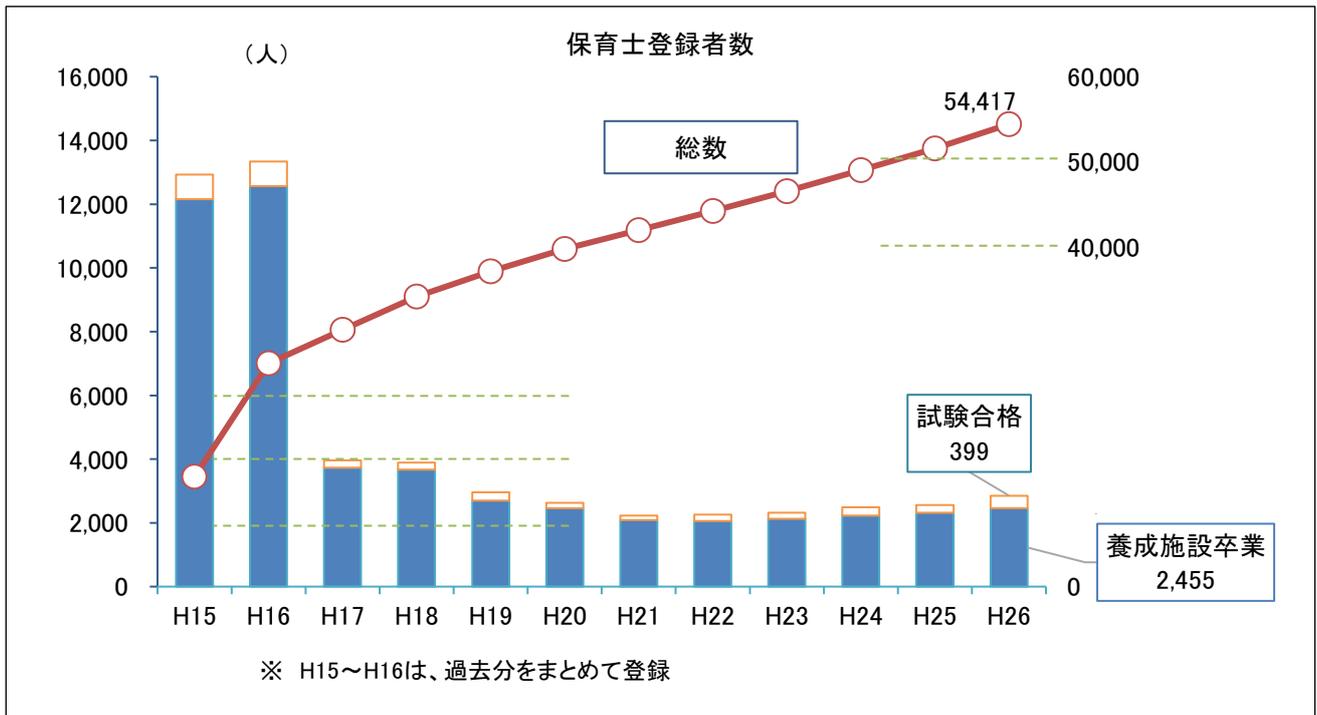
目 次

1 調査の背景	2
(1) 保育士登録者数の推移	2
(2) 保育所の常勤保育士の推移	2
(3) 待機児童の推移	3
(4) 保育所定員数と利用者数の推移	3
2 実態調査の概要	4
3 調査結果の集計について	5
4 単純集計版	7
(1) 調査対象者のプロフィール（全員）	7
(2) 保育士の就労状況など（一部）	8
(3) 保育士が安心して働き続けるための取組（全員）	14
5 課題分析のためのクロス集計版	17
(1) 3 区分の割合	17
(2) 保育士有資格者全体の状況	18
(3) 保育士として就労中の方の実態	21
(4) 過去に保育士として就労した方の実態	24
(5) 保育士として就労したことがない方の実態	26
(6) 保育士が安心して働き続けるための取組	28

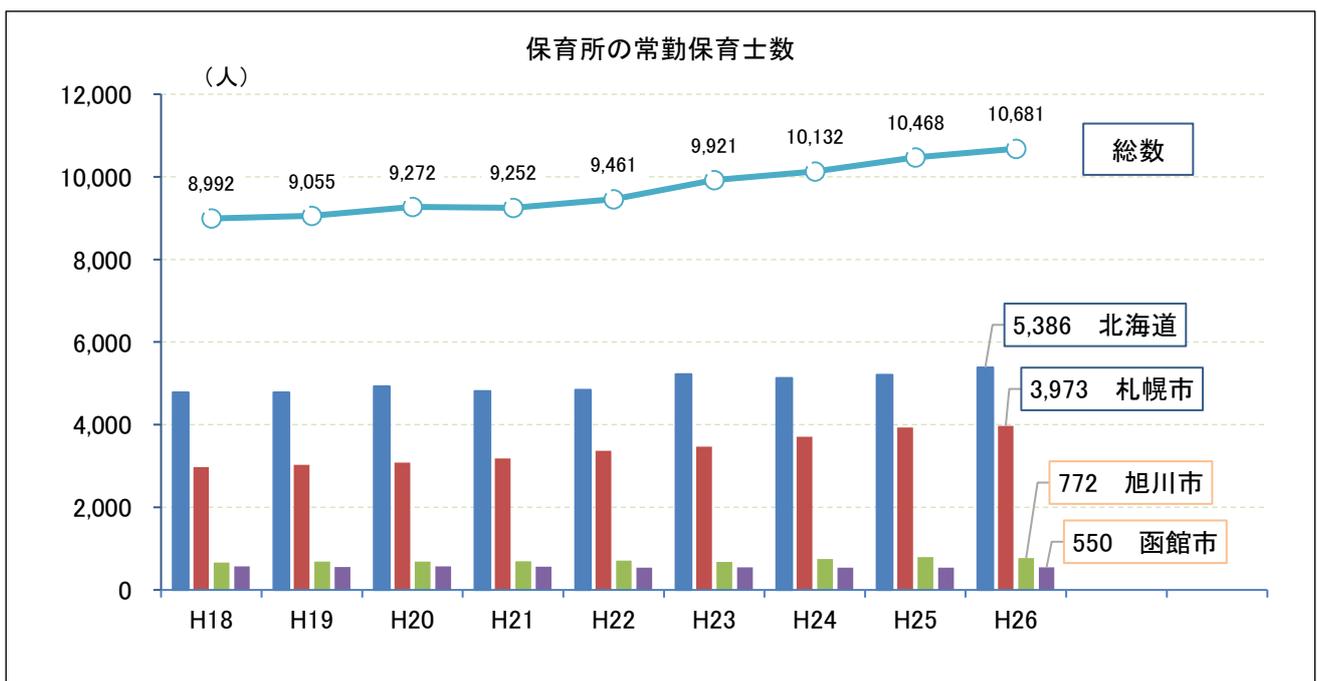
1 調査の背景

近年、保育所定員と入所児童数の増加によって、待機児童数は減少してきているが、依然として、平成 27 年 10 月時点で、970 名の待機児童が存在している。これらの待機児童を解消するためには、保育所の整備をさらに促進することに加え、保育所等に勤務している保育士や資格を有するものの保育士として勤務していない方々の声を聞き、保育士確保を一層進めるより効果的な対策の検討が必要である。

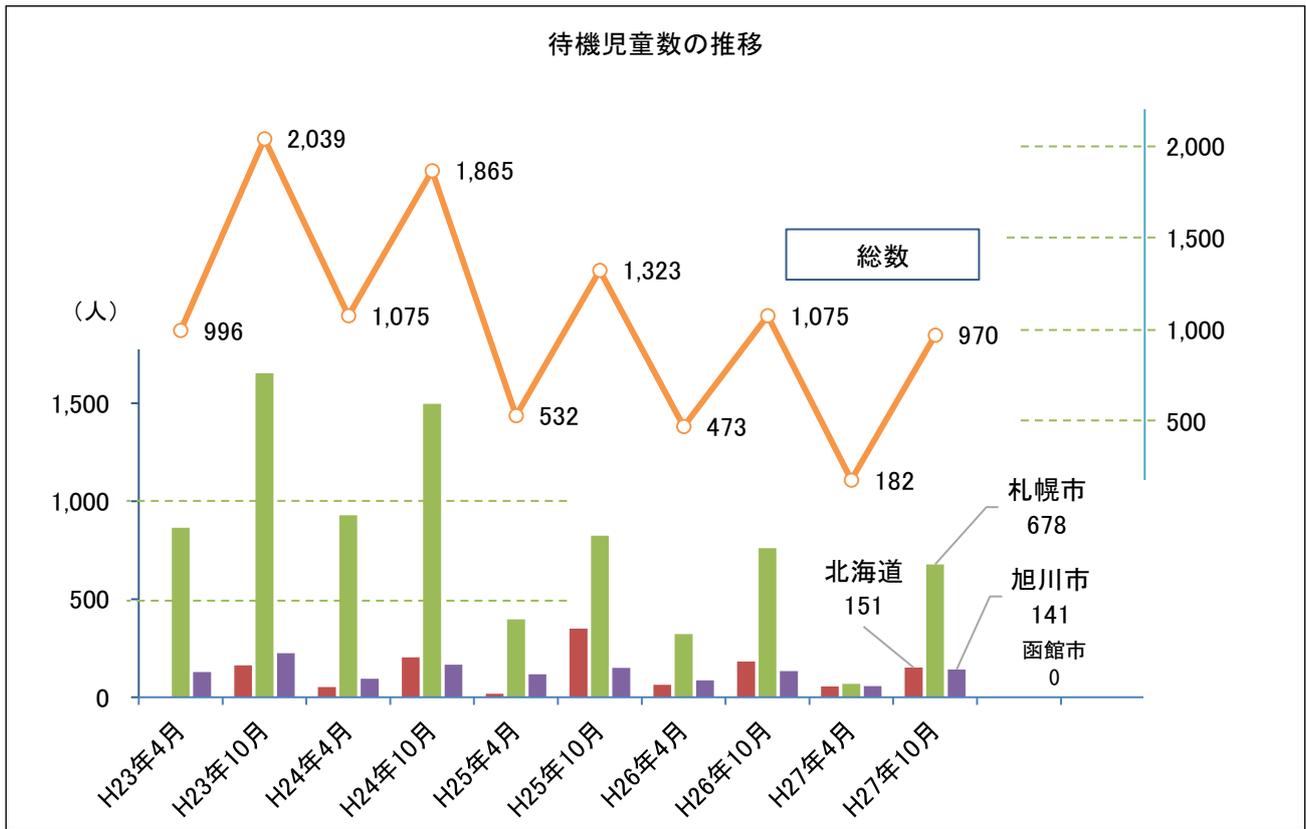
(1) 保育士登録者数の推移



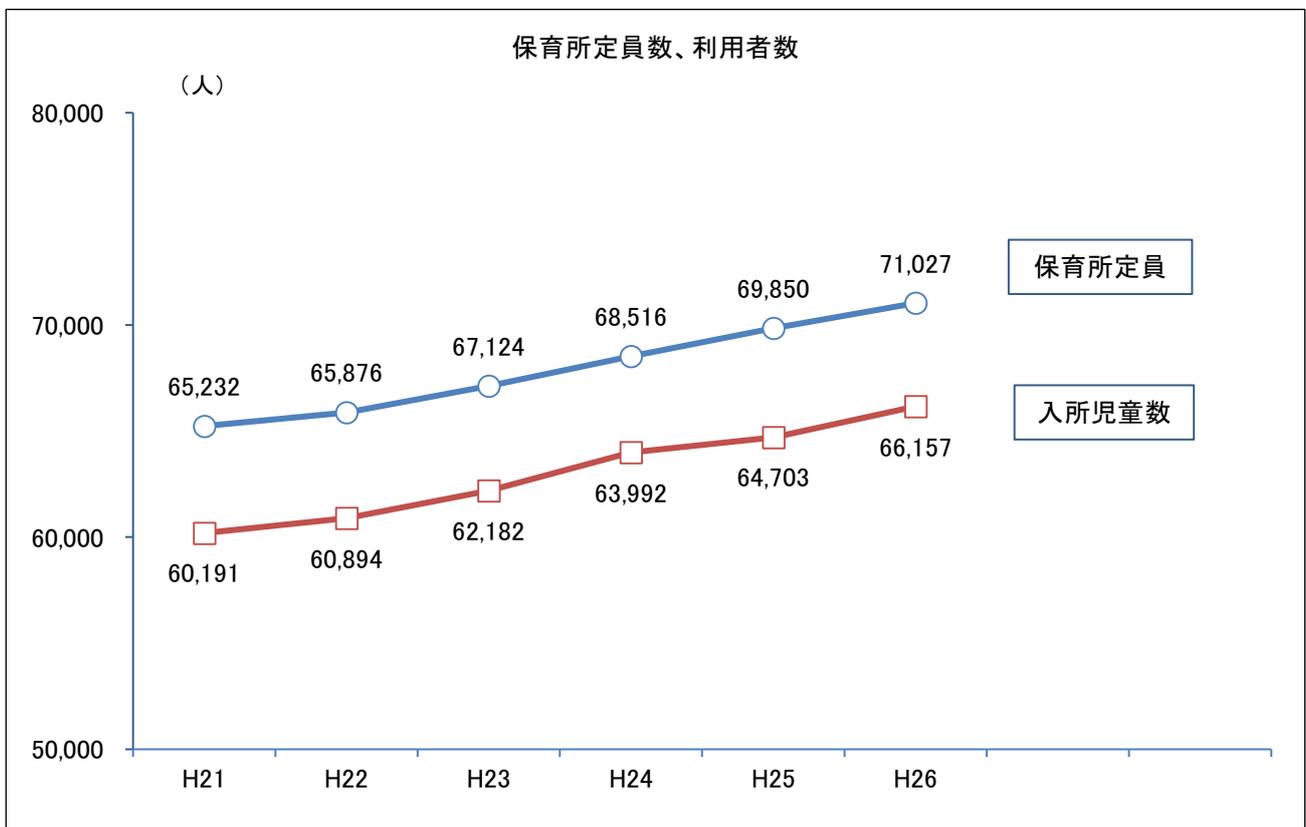
(2) 保育所の常勤保育士の推移



(3) 待機児童の推移



(4) 保育所定員数と利用者数の推移

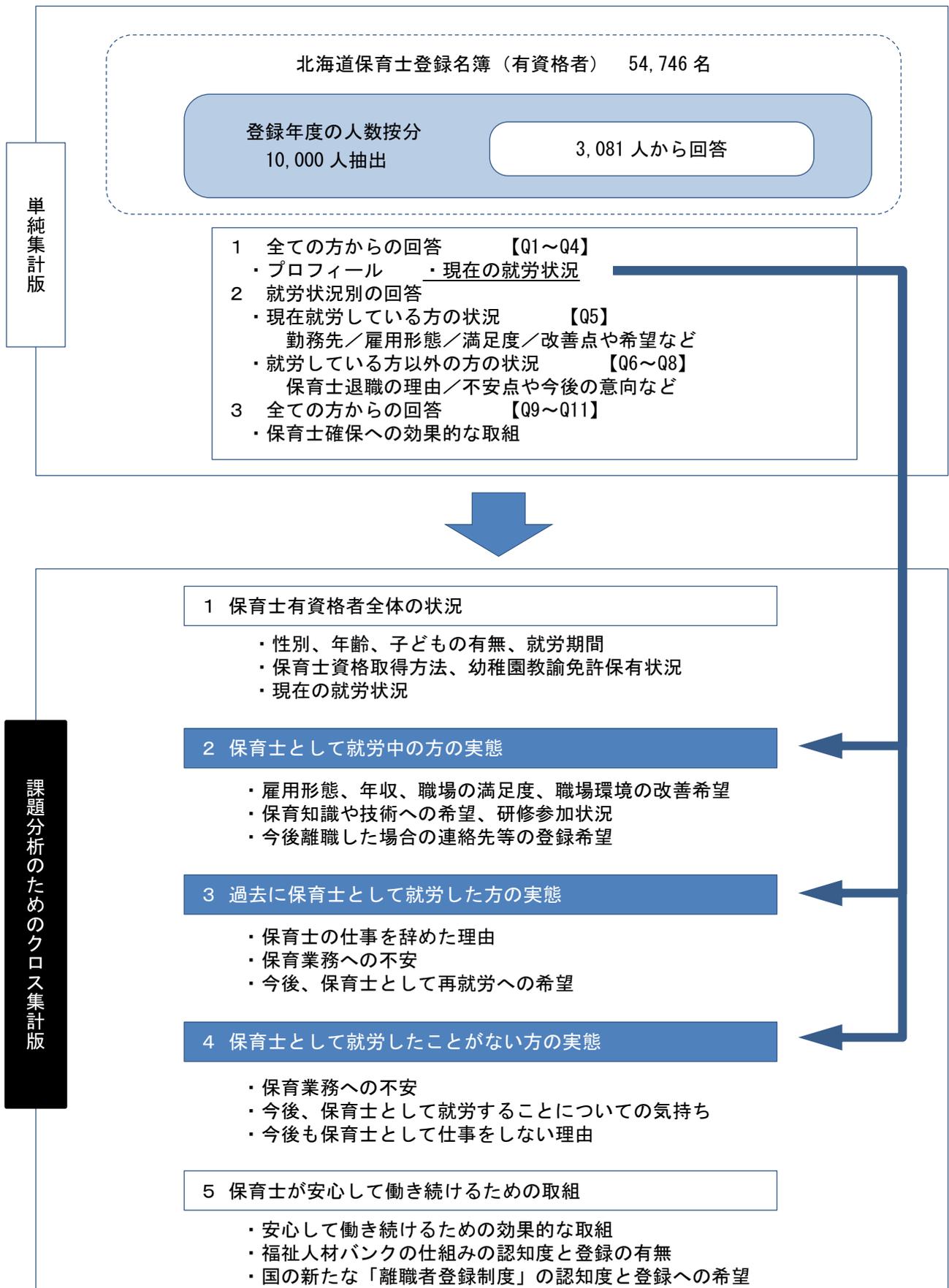


2 実態調査の概要

①調査目的	道内の保育士の実態を把握し、保育士確保、育成、就労定着のための政策検討に向けた基礎資料とする。
②調査対象	平成15年から平成27年9月までに、北海道で登録されている保育士54,746名のうち、年度ごとの登録件数で按分して10,000名を無作為に抽出
③調査時点	平成27年12月1日
④調査方法	調査票を郵送配布、郵送回収
⑤調査期間	平成27年12月（調査票発送）～平成28年1月（返送期限）
⑥回収数（率）	対象10,000名のうち、回収3,081名（回収率30.8%）
⑦調査項目	保育士資格の取得状況、現在の勤務状況、保育士が安心して働き続けるための効果的な取組についての意見など
⑧調査機関	昇寿チャート株式会社（道の委託）

3 調査結果の集計について

単純集計を基に、保育士として就労中の方、保育士の経験のある方、経験のない方の3区分で分類しクロス集計する。



単純集計版

- ・実際のアンケートの質問に沿って、集計可能な項目の集計値、割合を表記した。
- ・アンケートでは、無回答もあり、合計と内訳の数値とが一致しない場合がある。

4 単純集計版

(1) 調査対象者のプロフィール（全員）

平成 27 年（2015 年）12 月 1 日現在の状況についてご記入ください。

問 1 あなた自身についてお答えください。

- (1) 出生年 () 年 ※西暦
- (2) 性別
- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 男性 | 【87 (2.8%)】 |
| 2. 女性 | 【2,976 (96.6%)】 |
| 全体 | 【3,081 (100%)】 |
- (3) 子どもの有無
- | | |
|------|-----------------|
| 1. 有 | 【1,873 (60.8%)】 |
| 2. 無 | 【1,194 (38.8%)】 |
| 全体 | 【3,081 (100%)】 |
- (4) (3) で「1.有」の場合、子どもの数、末子の年齢 () 人 () 歳
- (5) 出身市町村名 ()
- (6) 現在の居住地市町村 ()

問 2 保育士資格の状況等についてお答えください。

- (1) 資格登録年 () 年 ※西暦
- (2) 資格取得の方法
- | | |
|--------------|-----------------|
| 全体 | 【3,081 (100%)】 |
| 1. 保育士養成施設卒業 | 【2,665 (86.5%)】 |
| 2. 保育士試験合格 | 【400 (13.0%)】 |
- (3) 養成施設卒業の場合、養成施設の所在市町村 ()
- (4) 幼稚園教諭免許の保有状況
- | | |
|--------------------|-----------------|
| 全体 | 【3,081 (100%)】 |
| 1. 専修幼稚園教諭免許を保有 | 【35 (1.1%)】 |
| 2. 第一種幼稚園教諭免許を保有 | 【256 (8.3%)】 |
| 3. 第二種幼稚園教諭免許を保有 | 【2,065 (67.0%)】 |
| 4. 幼稚園教諭免許は保有していない | 【645 (20.9%)】 |

問 3 これまでのお仕事の経験についてお伺いします。

- (1) これまで保育士として仕事を体験したことがありますか。（保育士には、「保育教諭」も含む。以下、全ての設問において同じ。）
- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 全体 | 【3,081 (100%)】 |
| 1. ある → (2) へ進んでください。 | 【2,571 (83.5%)】 |

2. ない → (3) へ進んでください。 【509 (16.5%)】

- (2) これまで保育士として仕事を経験したことがある方にお伺いします。 全体【2,571 (100%)】
1. 保育士として就業した年数は通算何年何ヶ月になりますか。 () 年 () ヶ月
 2. 同一の施設で最も長く就業した年数は何年何ヶ月ですか。 () 年 () ヶ月

- (3) これまで保育士として仕事をした経験がない方にお伺いします。 全体【509 (100%)】
- ①幼稚園教諭として仕事をした年数は、通算何年何ヶ月になりますか。
() 年 () ヶ月 ※経験がない場合は、「0 (ゼロ)」と記入してください。
 - ②保育士・幼稚園教諭の資格と関係の無い他の業種で仕事をした年数は、通算何年何ヶ月になりますか。
() 年 () ヶ月 ※経験がない場合は、「0 (ゼロ)」と記入してください。

問4 あなたの現在(平成27年(2015)年12月1日現在)の就業状況についてお答えください。

全体【3,081 (100%)】

- (1) 現在、保育士(「保育教諭」を含む。以下同じ。)として働いている
→Ⅱの「問5」へ進んでください。 【1,574 (51.1%)】
- (2) 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
→Ⅱの「問6」へ進んでください。 【411 (13.3%)】
- (3) 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
→Ⅱの「問6」へ進んでください。 【373 (12.1%)】
- (4) 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
→Ⅱの「問6」へ進んでください。 【568 (18.4%)】
- (5) 現在、働いていないが、過去に保育士以外の職種で働いた経験がある
→Ⅱの「問6」へ進んでください。 【139 (4.5%)】
- (6) 現在、働いておらず、過去にも職種を問わず働いた経験はない
→Ⅱの「問6」へ進んでください。 【13 (0.4%)】

(2) 保育士の就労状況など(一部)

問5 問4で「1」と回答した方について、現在の勤務の状況について教えてください。

- (1) 勤務先の施設等種別 全体【1,574 (100%)】
1. 認可保育所、認定こども園 【1,056 (67.1%)】
 2. 地域型保育事業所(小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育) 【119 (7.6%)】
 3. 認可外保育施設(へき地保育所含む) 【100 (6.4%)】
 4. 放課後児童クラブ 【64 (4.1%)】
 5. 1、2及び4以外の児童福祉施設・事業所 【162 (10.3%)】

- (2) 設置者の状況 全体【1,574 (100%)】
- 1. 公立 【482 (30.6%)】
 - 2. 私立 (社会福祉法人) 【646 (41.0%)】
 - 3. 私立 (その他の法人) 【347 (22.1%)】

(3) 勤務先の所在地市町村名 ()

- (4) 現在の雇用形態としてあてはまるものを選んでください。 全体【1,574 (100%)】
- 1. 正規職員 【749 (47.6%)】
 - 2. 有期契約職員 (非常勤) (フルタイムまたは週30時間以上) 【395 (25.1%)】
 - 3. 有期契約職員 (非常勤) (週30時間未満) 【343 (21.8%)】
 - 4. 派遣社員 【12 (0.8%)】
 - 5. 個人事業主 【10 (0.6%)】

(5) 現在の職場での、保育士としての就業期間及びこれまでの経験職場数
() 年目 () か所目

(6) (5) で2か所目以上の場合、直前の職場から現在勤務する職場までの間、保育士として仕事をしていない期間はどの位ありましたか。【889 (100%)】

- 1. 1年未満 【500 (56.2%)】
- 2. 3年未満 【87 (9.8%)】
- 3. 5年未満 【42 (4.7%)】
- 4. 5年～10年未満 【88 (8.9%)】
- 5. 10年～15年未満 【72 (8.1%)】
- 6. 16年以上 【52 (5.9%)】

(7) 現在勤務している職場への就業のきっかけ (方法) について、あてはまるものを1つを選んでください。

- 全体【1,574 (100%)】
- 1. ハローワークに求職登録 【295 (18.7%)】
 - 2. 福祉人材センター・人材バンクに求職登録 【9 (0.6%)】
 - 3. 人材派遣会社に登録・派遣 【7 (0.4%)】
 - 4. 知人・友人、OB・OGからの紹介 【374 (23.8%)】
 - 5. 保育実習による実習先からの勧誘 【65 (4.1%)】
 - 6. 卒業した養成校からの紹介・あっせん 【209 (13.3%)】
 - 7. 事業者の応募に対し自発的に直接申込み (1～6 以外) 【410 (26.1%)】
 - 8. その他 () 【191 (12.1%)】

(8) 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、() 内に実態をご記入いただき、あなたの満足度をお答えください。 全体【1,574 (100%)】

(○は各1つずつ)

※変則勤務の方は週または月の中で一番多い勤務パターンでお答えください。	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満
勤務日数 週 () 日	1 【619 (39.3%)】	2 【371 (23.6%)】	3	4	5
勤務時間 ※ () 時 () 分～	1 【451 (28.7%)】	2 【386 (24.5%)】	3	4	5

()時()分					
給与・賞与等 年収()万円	1 【210 (13.3%)】	2 【220 (14.0%)】	3	4	5
休暇取得・福利厚生	1 【310 (19.7%)】	2 【363 (23.1%)】	3	4	5
自宅からの(片道)通勤時間()分	1 【734 (46.6%)】	2 【331 (21.0%)】	3	4	5
職場の人間関係	1 【380 (24.1%)】	2 【559 (35.5%)】	3	4	5
保護者や地域との関係性	1 【270 (17.2%)】	2 【626 (39.8%)】	3	4	5
施設の理念や運営方針	1 【235 (14.9%)】	2 【477 (30.3%)】	3	4	5
スキルアップ等の各種研修の機会	1 【244 (15.5%)】	2 【427 (27.1%)】	3	4	5
上司からの自分への評価	1 【257 (16.3%)】	2 【435 (27.6%)】	3	4	5
保育士としての仕事全体の「やりがい」度	1 【402 (25.5%)】	2 【658 (41.8%)】	3	4	5

(9) 保育の仕事のやりがいや魅力について、あてはまるものに○をつけてください。

全体【1,574 (100%)】

1. 子どもの成長を支えているという実感 【1,065 (67.7%)】
2. 子どもとのふれあいの楽しさ 【1,162 (73.8%)】
3. 障がいのある子どもの育ちを導くことができる 【340 (21.6%)】
4. 保育を必要としている子どもや親を支援できる 【553 (35.1%)】
5. 保護者からの感謝 【398 (25.3%)】
6. その他(具体的に:)

(10) 契約期間等の途中で保育士の仕事を退職した経験についてお伺いします。

全体【1,574 (100%)】

①これまで、中途退職の経験はありますか。

1. 有 ()回 →②へ進んでください。 【433 (27.5%)】
2. 無 【1,082 (68.7%)】

②①で「1.有」の場合、その理由についてあてはまるものに○をつけてください。

全体【433 (100%)】

1. 結婚、妊娠・出産、育児のため 【217 (50.1%)】
2. 自身の健康上の理由 【54 (12.5%)】
3. 配偶者の転勤のため 【22 (5.1%)】
4. 勤務体制(勤務時間・シフト体制、休暇取得困難等)の不满 【56 (12.9%)】
5. 処遇面(賃金、福利厚生、キャリアアップ等の身分等)の不满 【50 (11.6%)】
6. 職場の人間関係の問題 【86 (19.9%)】
7. 保護者対応の負担・不满 【8 (1.9%)】
8. 記録等の事務、雑務の多さがが不満・負担 【32 (7.4%)】
9. 自分の思う保育ができないなど保育士としての力量・適性不足 【25 (5.8%)】
10. 権限範囲・責任範囲への不満・負担 【23 (5.4%)】
11. 自身への評価に対する不満 【12 (2.8%)】
12. 研修等の機会が少なかった(無かった) 【4 (0.9%)】
13. 施設の方針になじめなかったため 【60 (13.9%)】
14. 保育士の仕事に一定の達成感を感じたため 【11 (2.6%)】
15. その他(具体的に:) 【79 (18.2%)】

(11) 以下のそれぞれの項目について、現在の職場に対してあなたが改善してほしいと思っていることに○をつけてください。

全体【1,574 (100%)】

(○はいくつでも構いません。)

1. 事務・雑務の軽減	【654 (41.6%)】
2. 職員数の増員	【720 (45.7%)】
3. 施設の理念や運営方針	【297 (18.9%)】
4. 勤務シフトの改善	【389 (24.7%)】
5. 職員間のコミュニケーション	【335 (21.3%)】
6. 相談体制の充実	【221 (14.0%)】
7. 未消化休暇の改善	【521 (33.1%)】
8. 権限範囲の拡大・責任範囲の縮小	【205 (13.0%)】
9. 研修機会の充実	【189 (12.0%)】
10. 給与・賞与等の改善	【977 (62.1%)】
11. 雇用の安定化 (正職員登用)	【412 (26.2%)】
12. 評価制度の見直し	【164 (10.4%)】
13. 特になし	【116 (7.4%)】
14. その他 (具体的に :)	【151 (9.6%)】

(12) 今後あなたが保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得することを希望しますか。下記の中からお選びください。 全体【1,574 (100%)】

(○はいくつでも構いません。)

1. 保育実技	【742 (47.1%)】
2. 保護者との対応の仕方	【715 (45.4%)】
3. 保育所保育指針	【141 (9.0%)】
4. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	【310 (19.7%)】
5. 救命救急	【546 (34.7%)】
6. 食に関する指導	【336 (21.4%)】
7. 同僚とのコミュニケーション	【212 (13.5%)】
8. 特別な支援を必要とする子どもへの接し方	【938 (59.6%)】
9. パソコン操作	【519 (33.0%)】
10. 衛生管理	【233 (14.8%)】
11. 幼稚園教諭免許取得のための学習	【94 (6.0%)】
12. 保育計画の作り方、記録の方法	【339 (21.5%)】
13. 発達心理学	【580 (36.9%)】
14. 地域の子育て支援	【321 (20.4%)】
15. 特になし	【50 (3.2%)】

(13) 最近1年間の研修への参加状況について記入してください。 全体【1,574 (100%)】

1. 施設内の研修 () 回程度
2. 施設外の研修 () 回程度

(14) 今後、離職することがあった際、あなたの連絡先等の情報(離職情報)を道庁などに届け出ることによって、求人や研修の情報を発信する仕組みがあった場合、登録を希望しますか。

全体【1,574 (100%)】

1. 希望する 【809 (51.4%)】
2. 希望しない 【737 (46.8%)】

問6 問4で「1」以外に回答した方にお伺いします。

(1) 保育士として仕事をしていない期間（いわゆるブランク）は何年位になりますか。

保育士としての仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験がない方は資格取得後の期間をご記入ください。

約（ ）年

(2) 〈※本設問は、保育士として仕事の経験がある方のみお答えください。〉

保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるもの、3つまで○をつけてください。

	全体【979（100%）】
1. 結婚、妊娠・出産、育児のため	【391（39.9%）】
2. 自身の健康上の理由	【172（17.6%）】
3. 配偶者の転勤のため	【82（8.4%）】
4. 勤務体制（勤務時間・シフト体制、休暇取得困難等）の不满	【105（10.7%）】
5. 処遇（賃金、福利厚生、キャリアアップ等の身分等）面の不满	【130（13.3%）】
6. 職場の人間関係の問題	【135（13.8%）】
7. 保護者対応の負担・不满	【23（2.4%）】
8. 記録等の事務、雑務の多さがが不満・負担	【73（7.5%）】
9. 自分の思う保育ができないなど保育士としての力量・適性不足	【66（6.7%）】
10. 権限範囲・責任範囲への不满・負担	【20（2.0%）】
11. 自身への評価に対する不满	【16（1.6%）】
12. 研修等の機会が少なかった（無かった）	【14（1.4%）】
13. 施設の方針になじめなかったため	【74（7.6%）】
14. 保育士の仕事に一定の達成感を感じたため	【70（7.2%）】
15. その他（具体的に： ）	【332（33.9%）】

(3) 今後、保育士として仕事をするとしたら、どのような点が特に不安に感じますか。

全体【1,504（100%）】

特に不安と考えるものに◎、不安に考えるものに○、多少不安はあるがそれほど気にならないものに△、今のご自分とは無関係のものに×を（ ）内に記入してください。

1. 最近の保育の知識や技術などの不足	【◎298（19.8%）○435（28.9%）】
2. 家事・介護との両立、家族など周囲の理解	【◎228（15.2%）○369（24.5%）】
3. 育児（子どもの病休の際などの保障）との両立	【◎289（19.2%）○231（15.4%）】
4. 体力の低下	【◎349（23.2%）○500（33.2%）】
5. 保育の職場での人間関係	【◎212（14.1%）○466（31.0%）】
6. 園児の保護者の対応	【◎208（13.8%）○456（30.3%）】
7. 給与等年収など経済的な条件	【◎439（29.2%）○363（24.1%）】
8. 園児処遇への情熱	【◎48（3.2%）○266（17.7%）】
9. その他（具体的に： ）	

(4) 今後、保育士として仕事をすることについてのあなたのお気持ちについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体【1,504（100%）】

1. 条件に合うところがあればやってみたいと思う →(5)へ進んでください。	【367（24.4%）】
2. 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う	

- (5)へ進んでください。 【218 (14.5%)】
3. 自身の子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う
→(5)へ進んでください。 【210 (14.0%)】
4. 保育士として仕事をする事は当面考えられないと思う
→問8へ進んでください。 【310 (20.6%)】
5. 保育士としての仕事は今後することはないと思う
→問8へ進んでください。 【340 (22.6%)】
- (5) (4)で「1」、「2」、「3」に○をつけた方にお伺いします。
今後、保育士として働くことを希望する場合、次の中で、どの地域に所在する職場を希望しますか。あ
てはまるものに○をつけてください。 全体【795 (100%)】
1. 居住地市町村内に限る 【496 (62.4%)】
2. 通勤可能な近隣市町村内まで 【259 (32.6%)】
3. 北海道内であればどこでも良い 【8 (1.0%)】
4. 北海道以外を希望 (理由:) 【10 (1.3%)】
5. どこでもよい 【16 (2.0%)】
6. その他 (自治体名:) 【8 (1.0%)】
- (6) 保育士資格を活かして働くために重視する点としてあてはまるものに3つまで選んで○をつけてくだ
さい。 全体【795 (100%)】
1. 収入 【520 (65.4%)】
2. 通勤条件 【234 (29.4%)】
3. 勤務時間 【600 (75.5%)】
4. 保育の方針 【224 (28.2%)】
5. 職場の雰囲気 【414 (52.1%)】
6. 家族の理解 【84 (10.6%)】
7. 自身の子育て環境 【186 (23.4%)】
8. その他 (具体的に:) 【28 (3.5%)】

問7 問6の(4)で「1」、「2」、「3」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

- (1) これまで、保育士の「就職支援セミナー・就職相談会」「職場復帰支援研修」などに参加したことがあ
りますか。 全体【795 (100%)】
1. 参加したことがある 【43 (5.4%)】
2. 参加したことはない 【716 (90.1%)】
- (2) 最寄りの場所で、保育士の「就職支援セミナー・就職相談会」「職場復帰支援研修」などが開催される
場合、参加してみたいと思いますか。 全体【795 (100%)】
1. 参加したい 【382 (48.1%)】
2. 参加したいとは思わない 【359 (45.2%)】
- (3) 今後、保育士として就業を希望する場合、次の職場についてあなたのお考えをお答えください。
全体【795 (100%)】
- ①認可保育所、認定こども園
1. 希望する (理由:) 【538 (67.7%)】

2. 希望しない（理由： ） 【113（14.2%）】
- ②地域型保育事業所（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）
1. 希望する（理由： ） 【397（49.9%）】
2. 希望しない（理由： ） 【229（28.8%）】
- ③認可外保育施設（へき地保育所を含む）
1. 希望する（理由： ） 【158（19.9%）】
2. 希望しない（理由： ） 【451（56.7%）】
- ④放課後児童クラブ
1. 希望する（理由： ） 【207（26.0%）】
2. 希望しない（理由： ） 【410（51.6%）】
- ⑤①～④以外の児童福祉施設・事業（児童養護施設、一時預かり、病児保育、障がい福祉サービスなど）
1. 希望する（理由： ） 【285（35.9%）】
2. 希望しない（理由： ） 【330（41.5%）】

問8 問6の（4）で「4」、「5」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。
その理由としてあてはまるものに○をつけてください。

- 全体 【650（100%）】
1. 児童の保育や支援を行うことに不安がある（負担に感じる） 【97（14.9%）】
2. 保護者への対応に不安がある（負担に感じる） 【86（13.2%）】
3. 記録等の事務処理等に不安がある（負担に感じる） 【84（12.9%）】
4. 勤務時間が合わない 【43（6.6%）】
5. 賃金等の処遇面が割に合わない 【138（21.2%）】
6. 通勤環境（手段、時間、距離）が合わない 【10（1.5%）】
7. 近くに求人募集している施設・事業所等がない 【8（1.2%）】
8. 保育士の仕事に一定の達成感を感じたから 【61（9.4%）】
9. しばらく保育士の仕事から離れたたい 【47（7.2%）】
10. 保育士の仕事に魅力を感じない 【44（6.8%）】
11. 専業主婦を希望する 【63（9.7%）】
12. 育児との両立が難しい 【21（3.2%）】
13. その他（具体的に： ） 【323（49.7%）】

（3）保育士が安心して働き続けるための取組（全員）

保育士が安心して働き続けられるために効果的な取組（仕組み）として考える（希望する）ものを選んでください。

問9 特に効果的と考えるものについて、以下の（1）から（4）までそれぞれ2つまで○をつけてください。

- 全体 【3,081（100%）】
- （1）人材確保の環境
1. 保育士資格を取得しやすくするための取組の実施 【754（24.5%）】
2. 修学資金の貸付 【959（31.1%）】
3. 保育士資格を有しない未就業者の就業支援 【429（13.9%）】
4. 国家資格としての保育士の専門性の向上 【2,052（66.6%）】

（2）職場環境

- | | |
|-------------------------------------|----------------|
| 1. 離職防止のための研修支援（キャリア対応、質向上、代替職員確保等） | 【717（23.3%）】 |
| 2. 給与・賞与面での充実 | 【2,482（80.6%）】 |
| 3. 休暇制度（本人、自身の子どもの病気の際の休暇）の保障・充実 | 【1,747（56.7%）】 |
| 4. 福利厚生面の充実 | 【335（10.9%）】 |
| 5. キャリアアップの仕組みの構築・導入 | 【205（6.7%）】 |
| 6. 園の方針等が確認できる仕組の充実 | 【182（5.9%）】 |

（3）人材育成、研修機会の環境

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 復職に向けたブランク対策のための研修や体験の充実 | 【1,576（51.2%）】 |
| 2. スキルアップ、キャリアアップの研修の体制の確保、機会の充実 | 【1,470（47.7%）】 |
| 3. 就業継続のための研修の機会の充実 | 【978（31.7%）】 |

（4）その他の環境

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. 自身の子育てにかかる経済的負担（保育料、医療費等）の軽減 | 【1,348（43.8%）】 |
| 2. 自身の子育て環境（事業所内保育施設の設置や優先入所の適用等）の充実 | 【1,449（47.0%）】 |
| 3. 求人情報の効果的な収集及び発信 | 【766（24.9%）】 |
| 4. 世間の意識醸成（魅力的な職業であるPR等） | 【669（21.7%）】 |

問10 北海道では、保育士の求人登録や仕事を求める方とのマッチングなどを行う「北海道福祉人材センター・人材バンク」を設置し、対応しております。この仕組みを知っていますか。

全体【3,081（100%）】

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 知っており、登録したことがある | 【57（1.9%）】 |
| 2. 知っているが、登録したことがない | 【516（16.8%）】 |
| 3. 知らない | 【2,412（78.3%）】 |

問11 国では、保育士確保のため、保育所などを離職した方などの情報を登録し、求人や研修についての情報を発信する「離職者登録制度」を進めようとしております。この制度のことを知っていますか。

全体【3,081（100%）】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 知っており、登録を考えたい | 【104（3.4%）】 |
| 2. 知っているが、登録することは望まない | 【292（9.5%）】 |
| 3. 知らない | 【2,585（83.9%）】 |

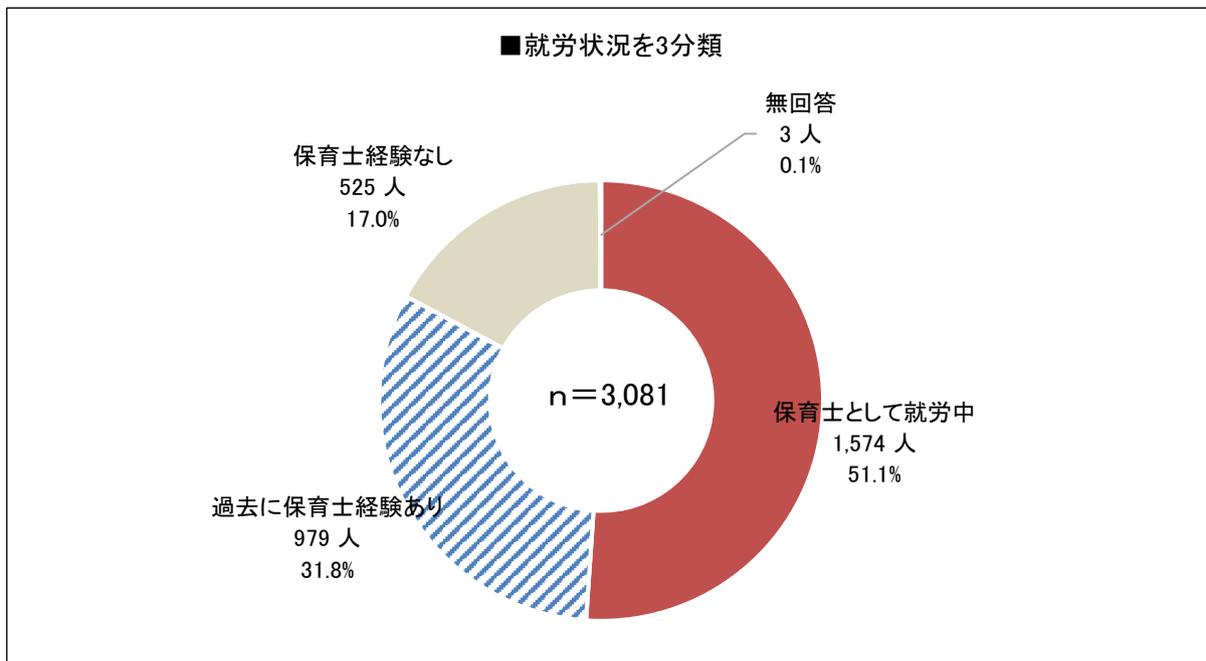
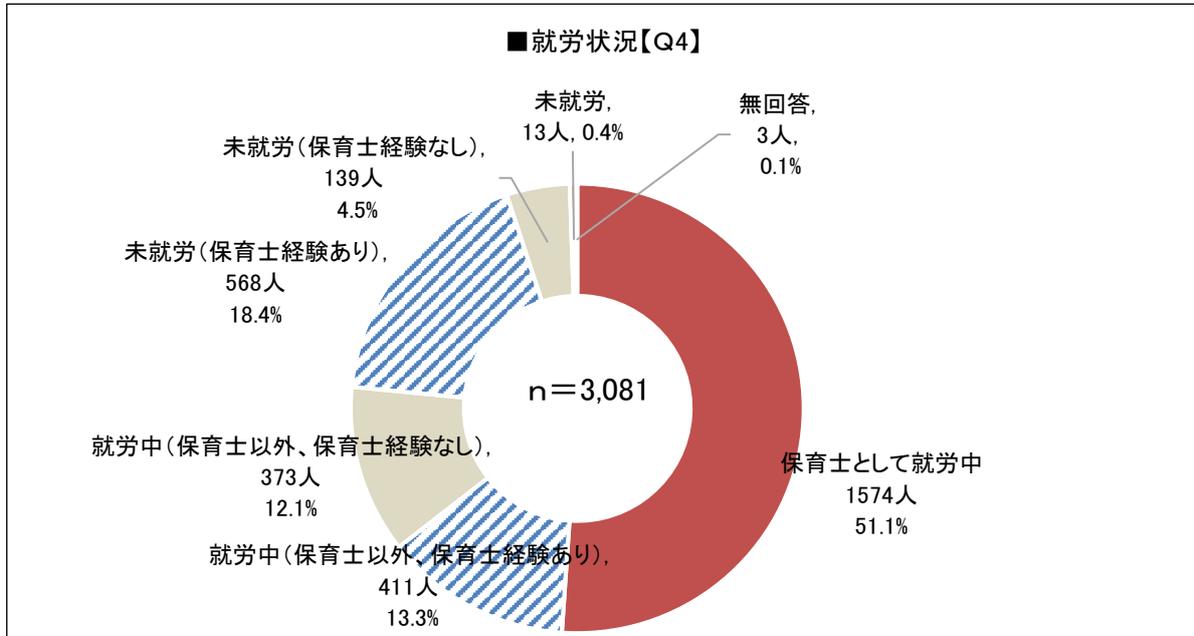
課題分析のための クロス集計版

- ・単純集計のデータを基に、就労中、経験あり、経験なしで分類しクロス集計した。

5 課題分析のためのクロス集計版

(1) 3区分の割合

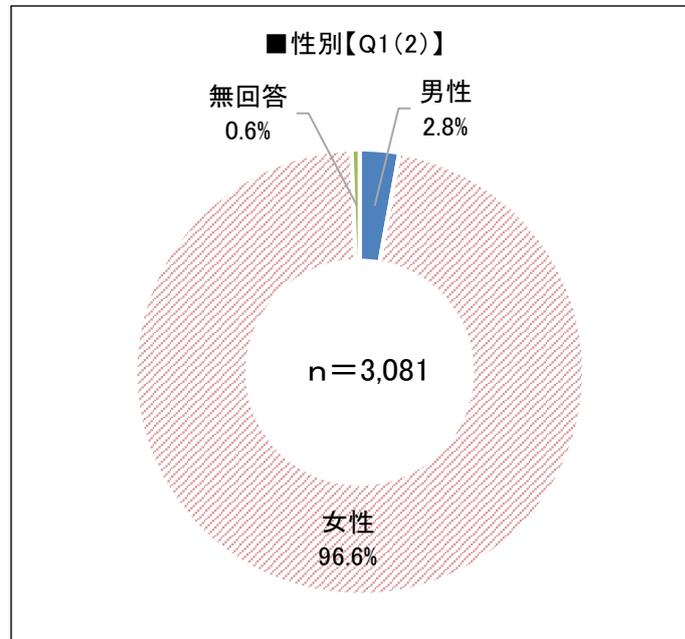
今後の保育士の職場定着や潜在保育士の活用を図る方策を検討することから、保育士として就労中（1,574人、51.1%）、過去に保育士業務の経験あり（979人、31.8%）、保育士業務の経験なし（525人、17.0%）の3つの区分に分類した上で、職場の満足度や改善事項、保育士を退職した理由、仕事に不安を感じる点や再度保育士として働く意欲などについて分析することとする。



(2) 保育士有資格者全体の状況

①性別

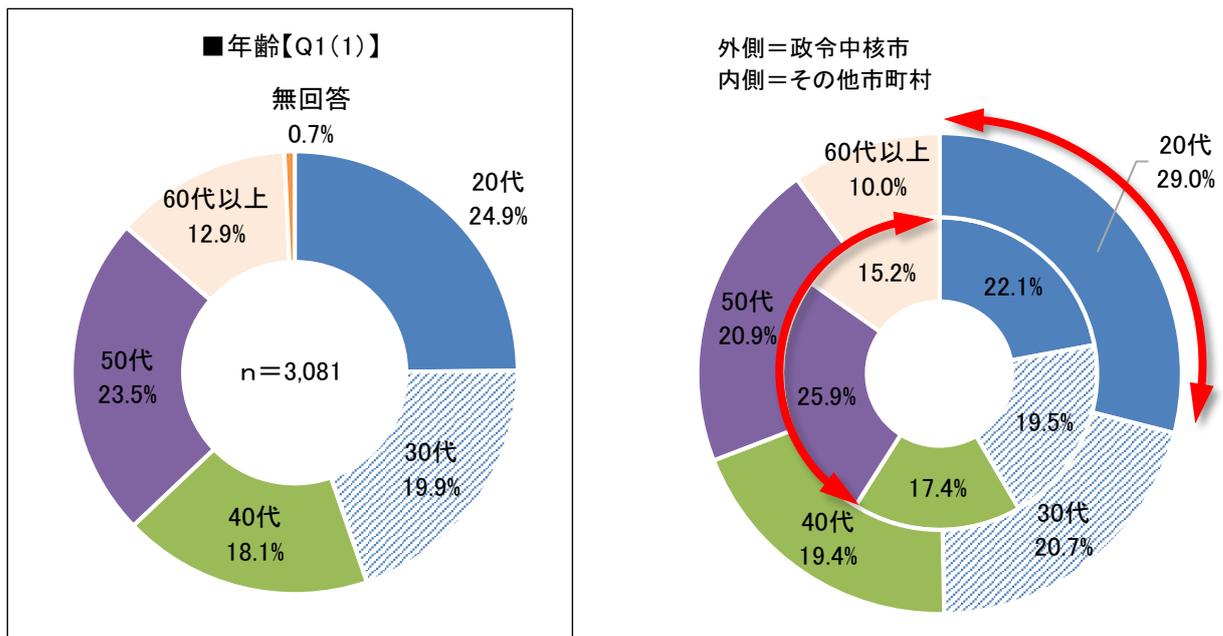
性別では、女性が回答のあった全体の96.6%を占めている。



②年齢

年齢では、20代(24.9%)が最も割合が高いが、20代から50代まではおおむね均等的な分布(回答)となっている。

政令中核市とその他市町村とで比較すると、政令中核市では20代の保育士の割合(29.0%)が高く、その他市町村では50代以上の割合(25.9%+15.2%)が高い。



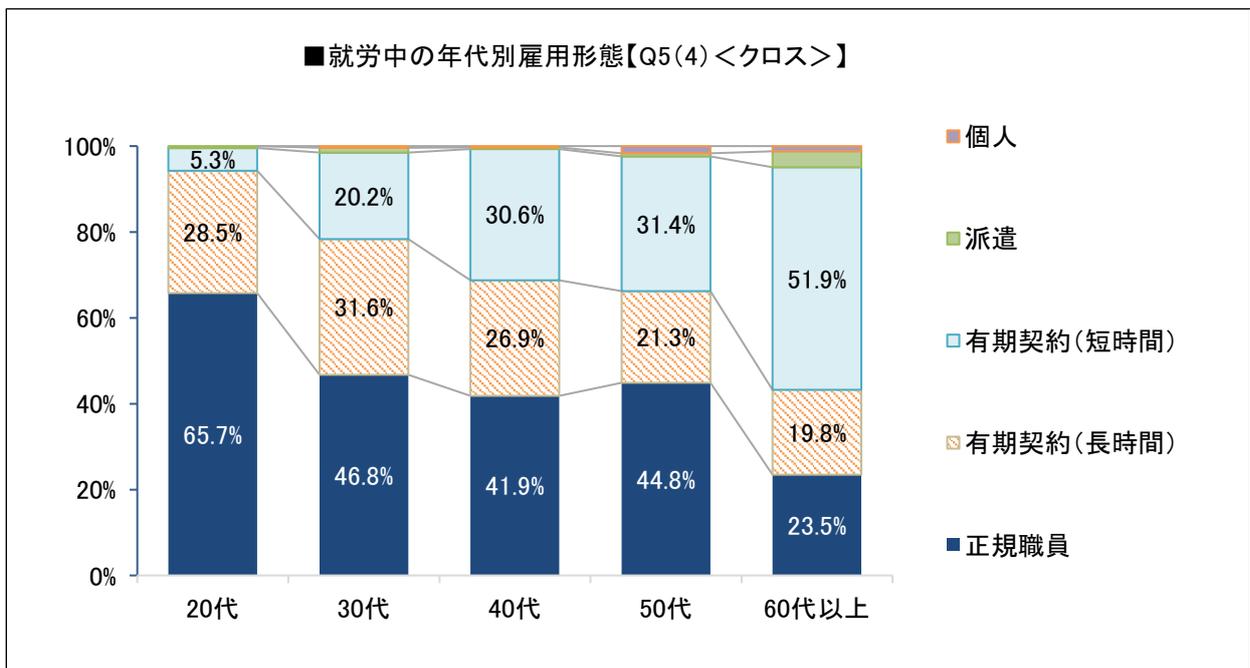
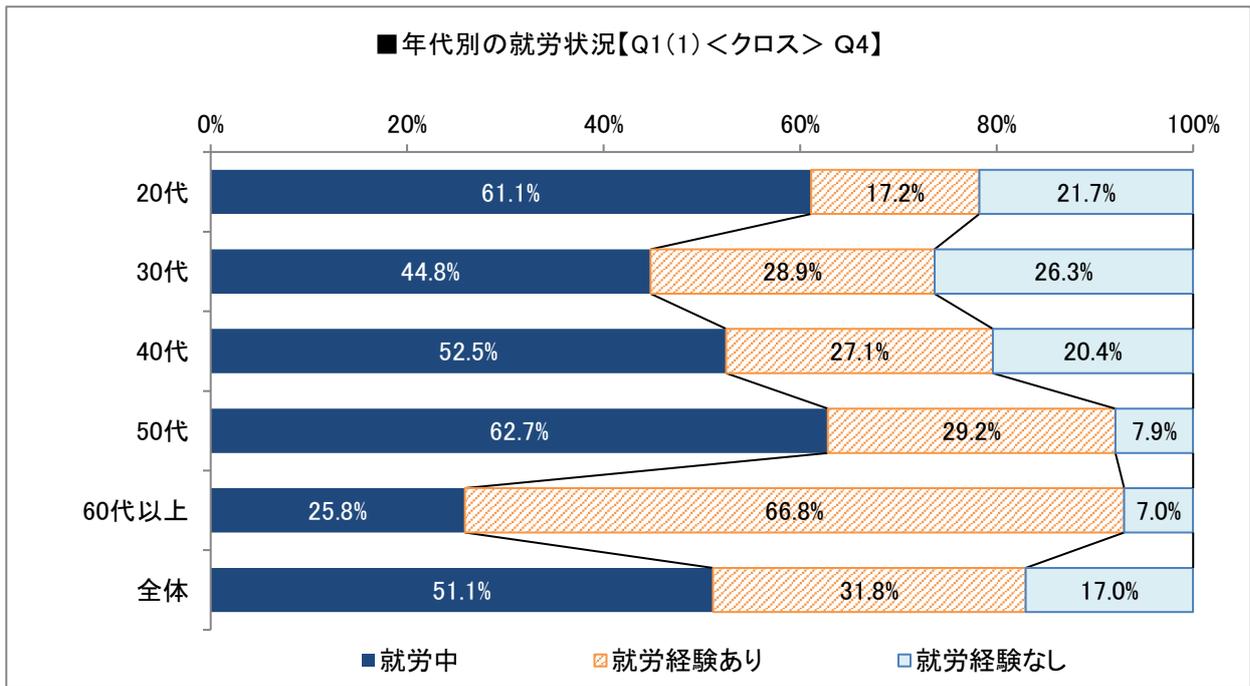
③年代別の就労状況

年代別の就労状況では、20代（61.1%）と50代（62.7%）の就労中は6割を超えている。

30代の就労中は、5割を切って（44.8%）、経験ありは3割程度（28.9%）となっており、その割合は20代（17.2%）より高くなっている。

40代と50代では、再び就労中が5割を超えている（40代52.5%、50代62.7%）。

就労中の雇用形態を年代別で見ると、正規職員は20代（65.7%）で6割を超えているが、年齢が高くなると徐々に減少し、有期契約（短時間）が増加する。



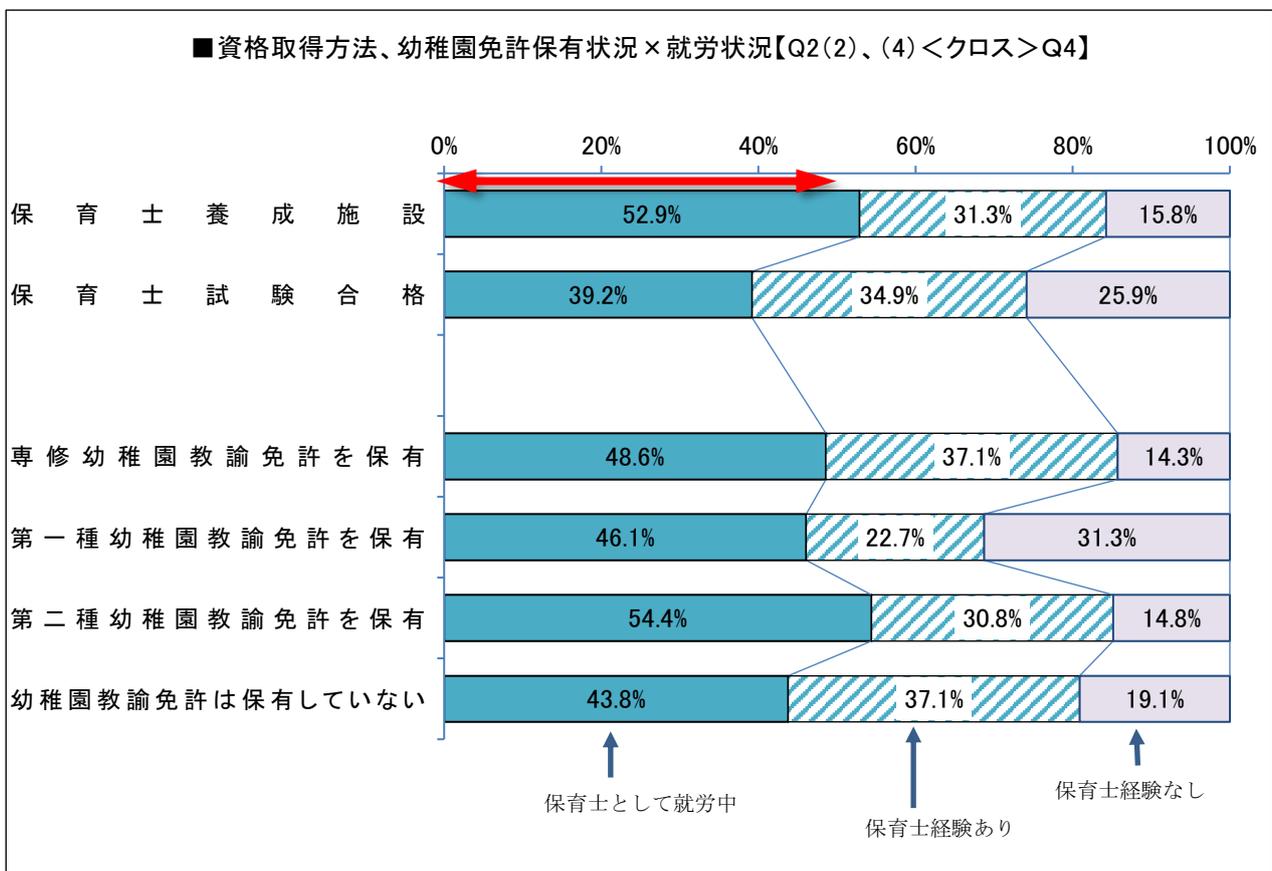
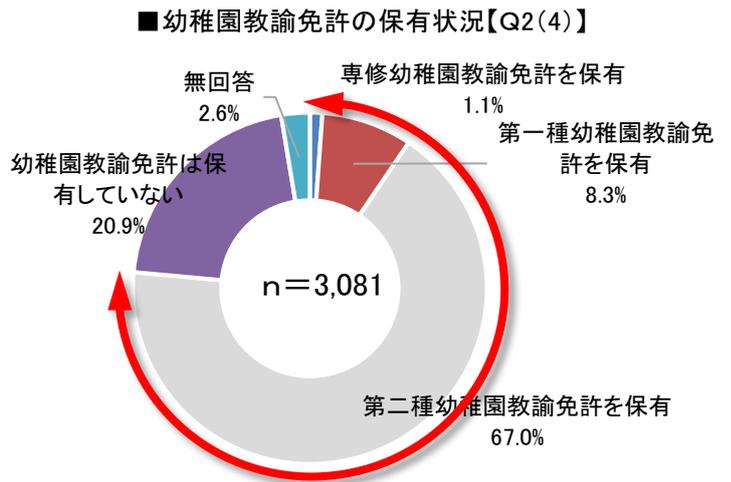
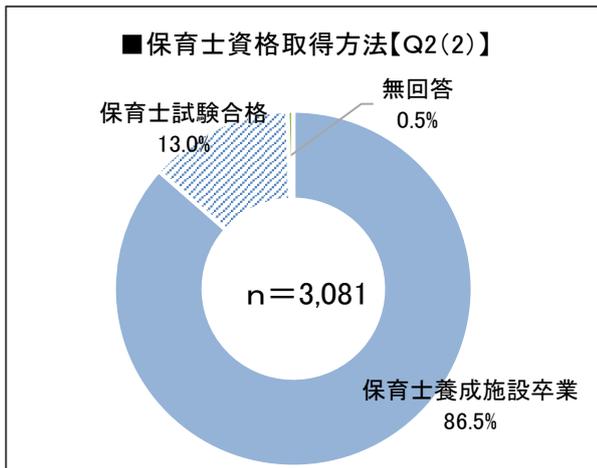
④資格取得状況

保育士資格の取得方法は、8割以上（86.5%）が養成施設卒業である。

8割程度（76.4%）が幼稚園教諭免許を保有し、2割（20.9%）は保育士免許のみである。

養成施設での資格取得者の5割以上（52.9%）は保育士として就労中であり、保育士経験ありを含めると8割程度（52.9%+31.3%）が資格を活かして就労している。

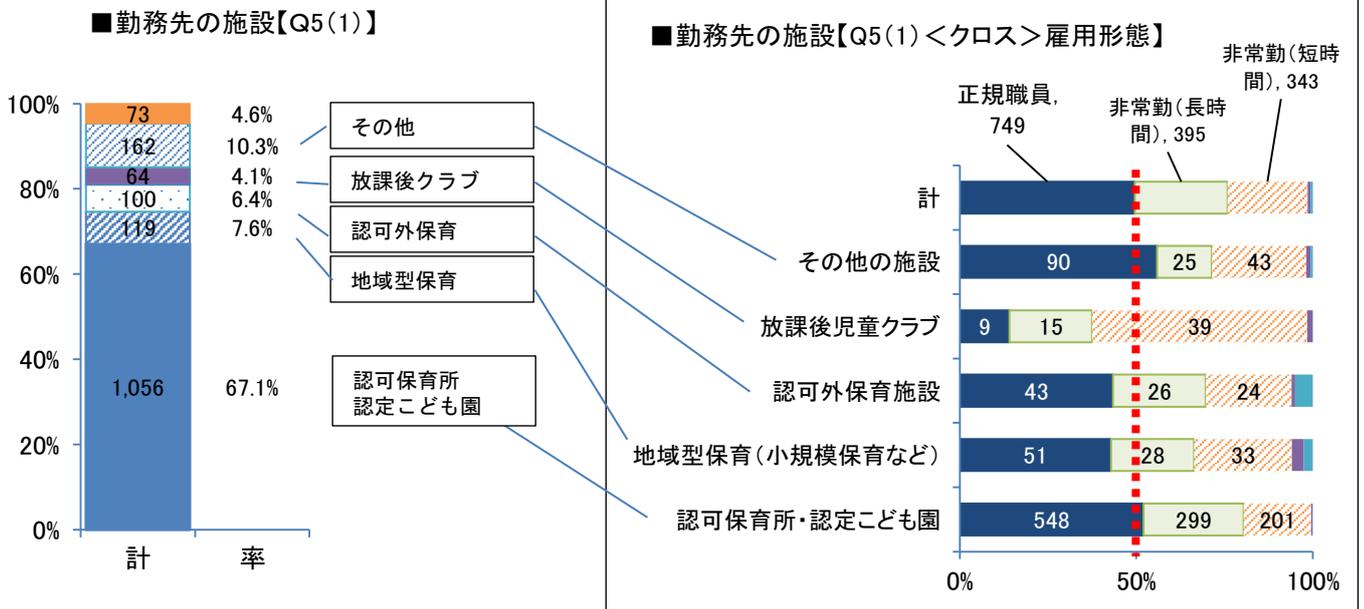
幼稚園教諭免許の有無を問わず、半数程度（48.6%、46.1%、54.4%、43.8%）は、保育士として就労中である。



(3) 保育士として就労中の方の実態

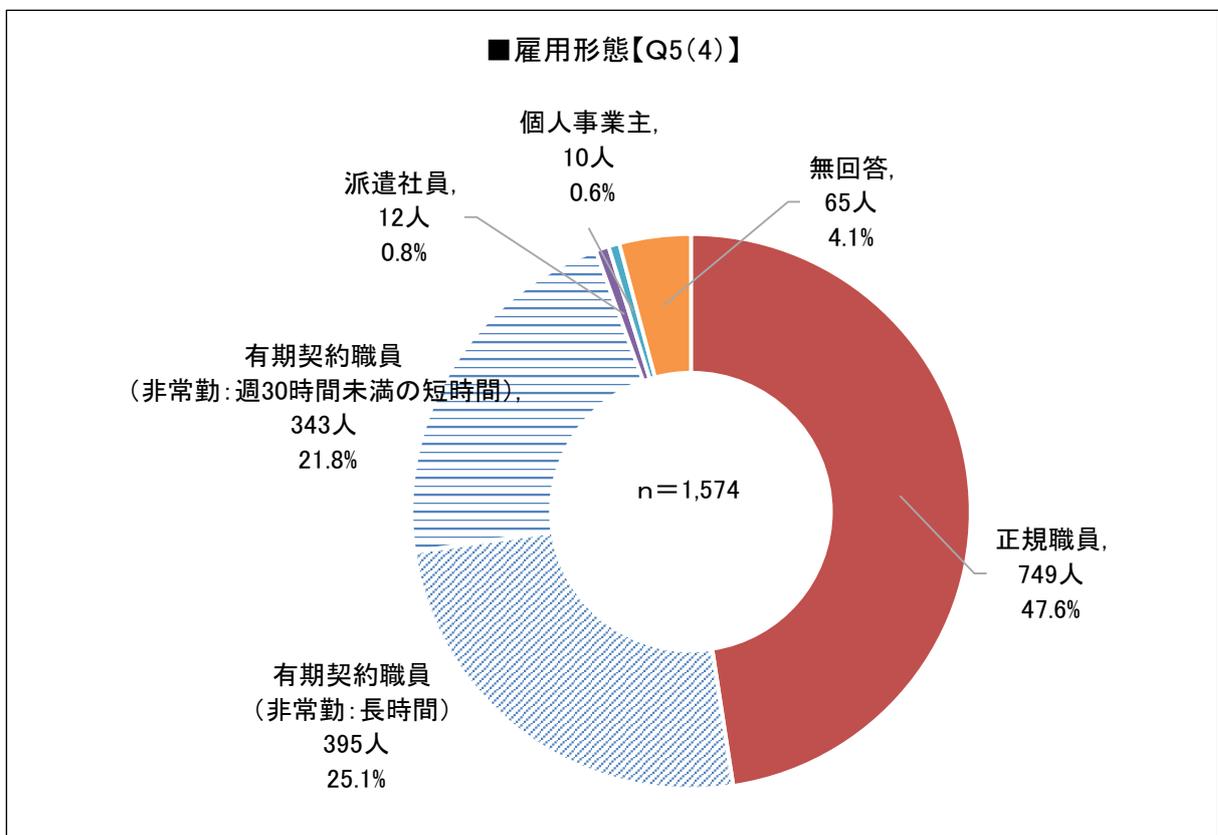
① 勤務先の施設

勤務先の施設は、認可保育所等が67.1%で最も多く、正規職員の割合は5割程度となっている。



② 雇用形態

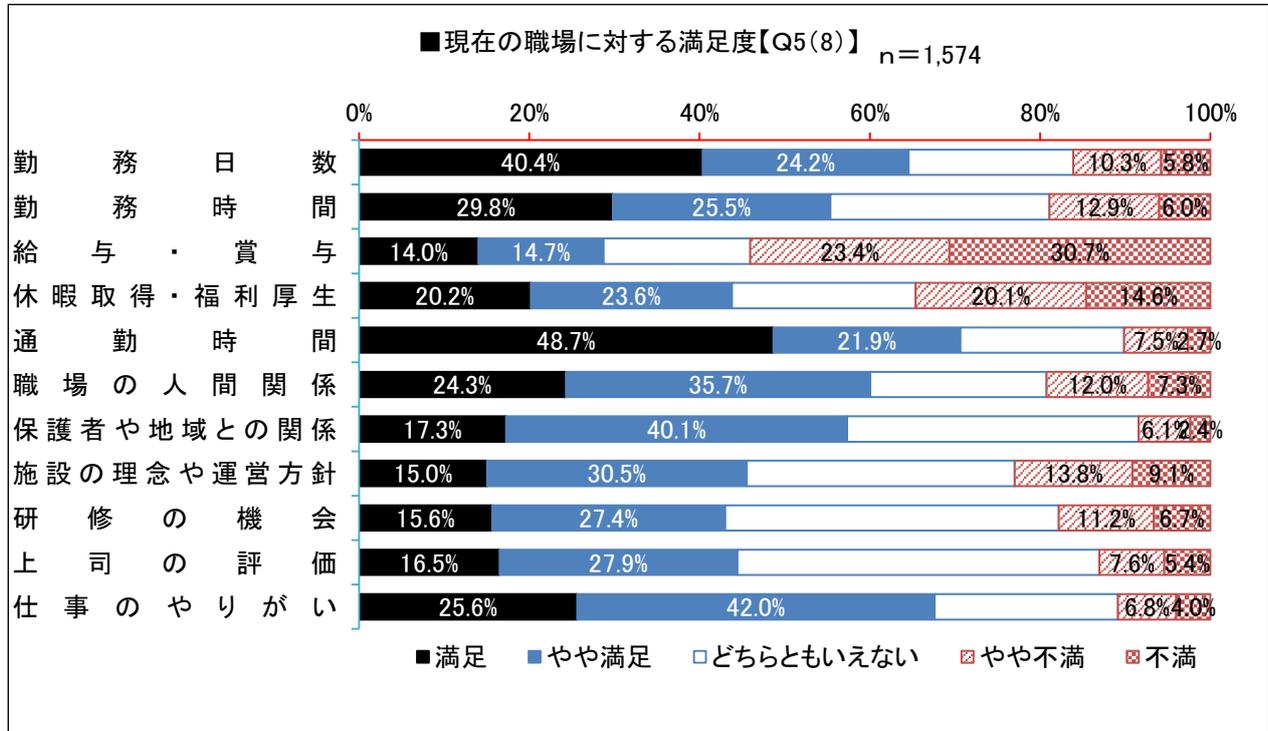
雇用形態は、約5割(47.6%)が正規職員で、有期契約(長時間)は25.1%となっている。



③現在の職場に対する満足度

満足度は、通勤時間（70.6%）ややりがい（67.6%）では高く、給与面（28.7%）や研修機会（43.0%）で低い。

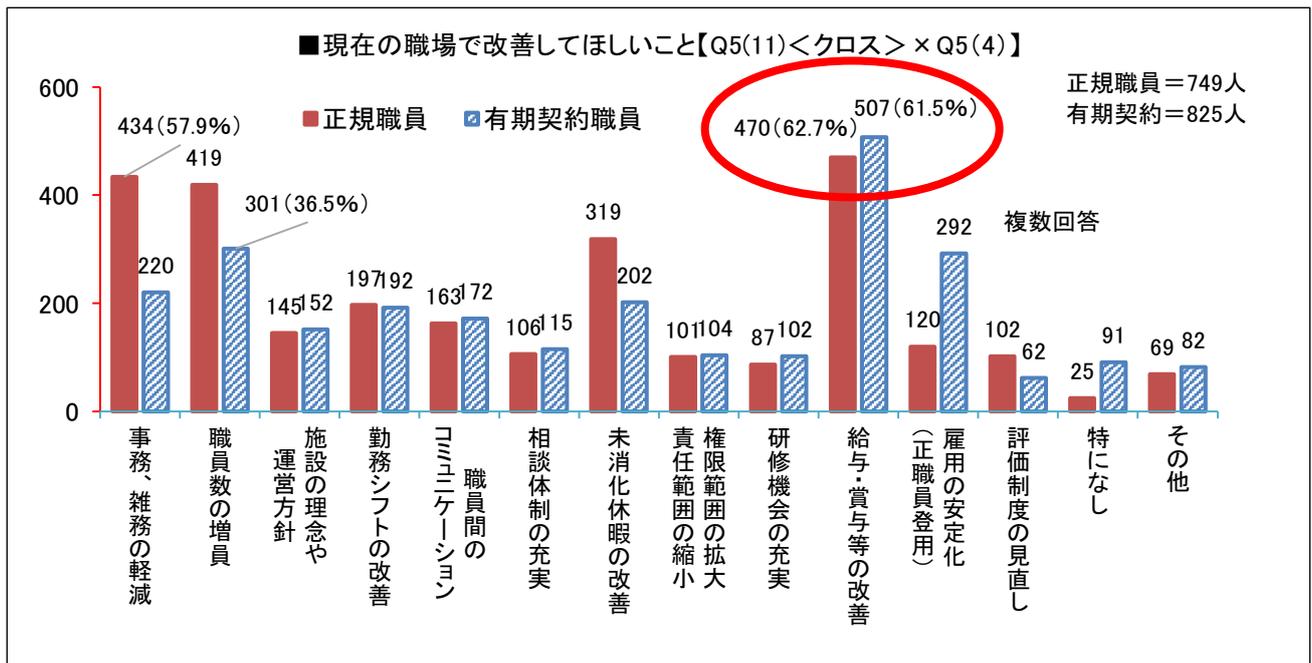
満足より不満の割合が高いのは給与であり、他の全ての項目は満足度の方が高い。



④現在の職場で改善してほしいこと

職場の改善事項では、正規職員、有期契約職員ともに給与改善が最も多い。

正規職員では、事務の軽減、職員の増員も多くなっており、非常勤では雇用の安定化が多い。

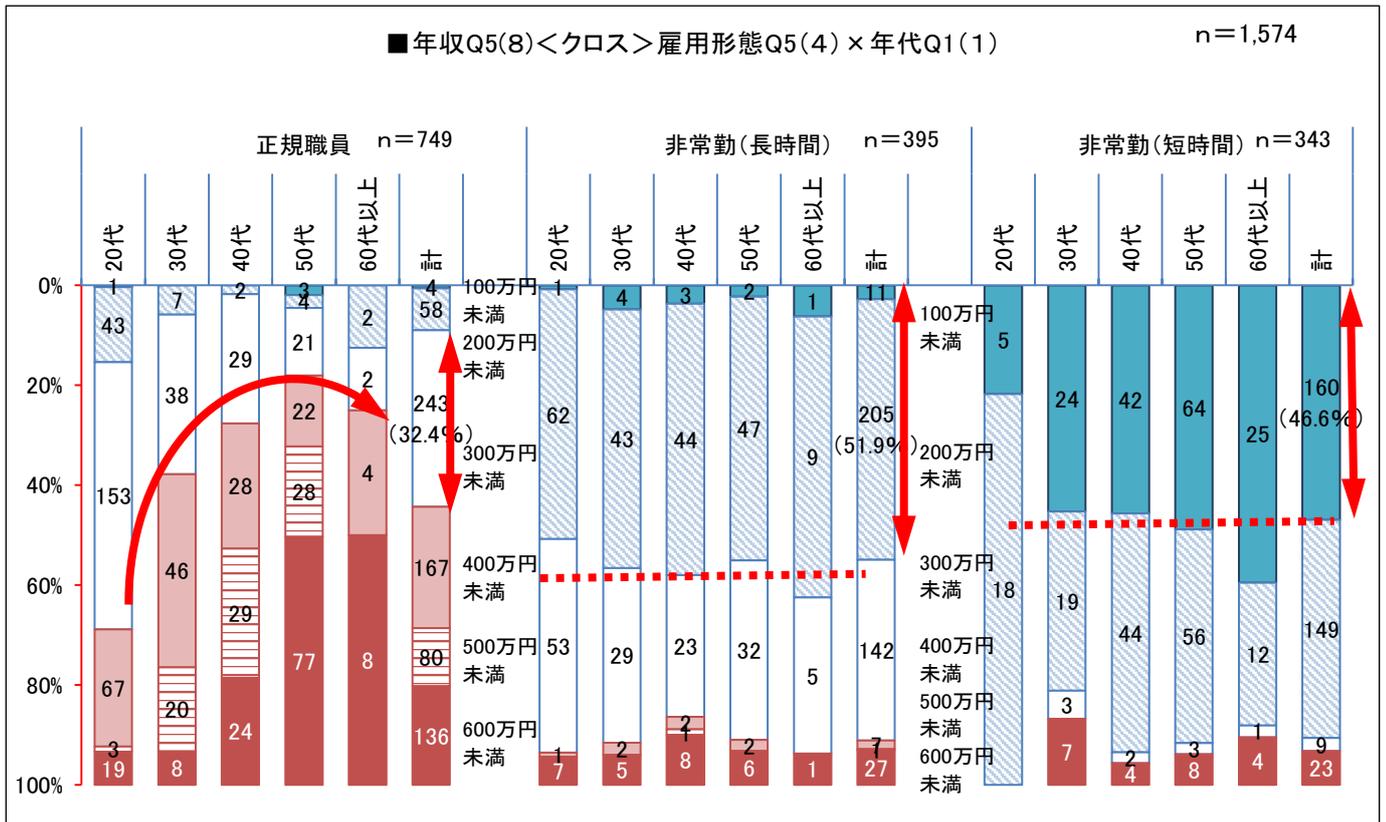


⑤年代別の年収と雇用形態

正規職員では、20代では300万円未満が最も多く、年代が上がるにつれ年収が上昇する。全体では、300万円未満が最も多い。

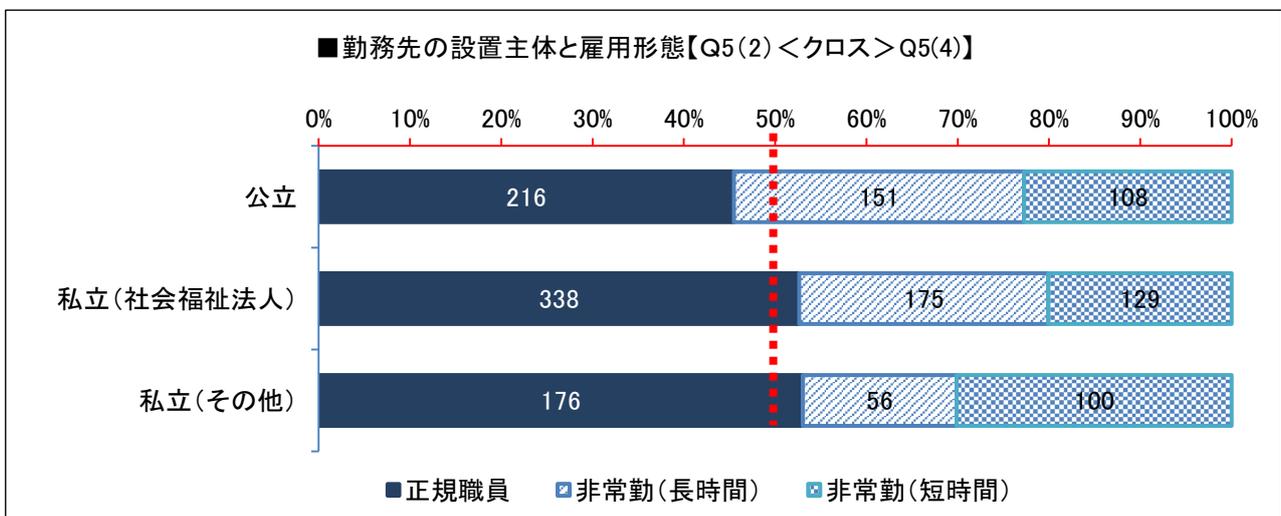
非常勤（長時間）では、100万円から200万円未満が最も多く、年代による年収に変化はみられない。

非常勤（短時間）では、30代以降で100万円未満が多くなる。



⑥勤務先の設置主体と雇用形態

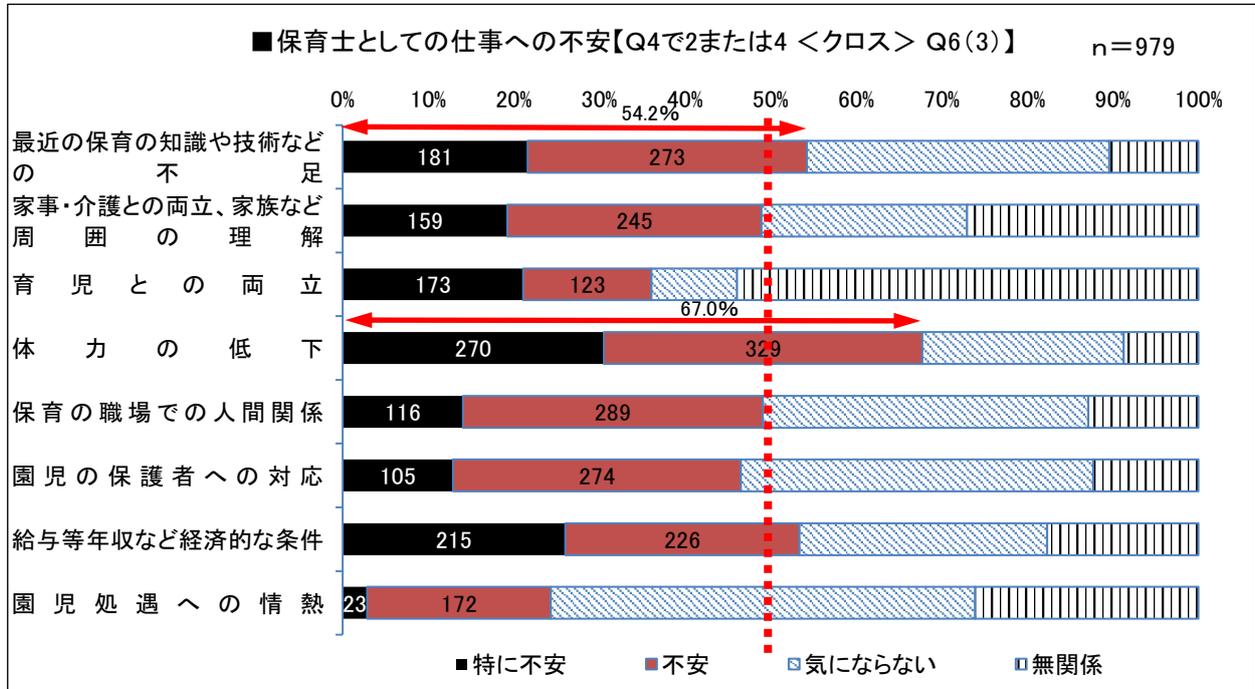
設置主体別では、公立、私立ともに5割程度が正規職員で、私立（その他）では短時間の職員の割合が高い。



(4) 過去に保育士として就労した方の実態

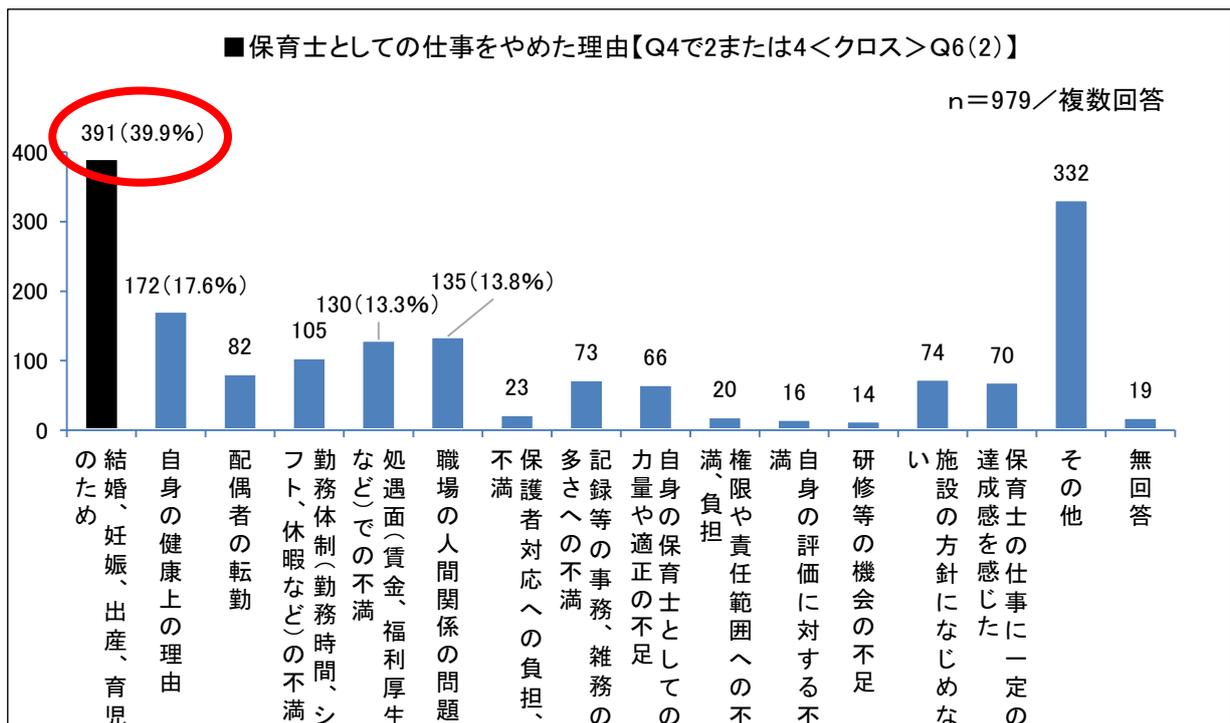
①保育士としての仕事への不安

保育士としての仕事で、5割以上（無回答を除く）で不安に感じていることは、体力の低下、給与面などの条件、保育の知識や技術の不足となっている。その他、家事の両立、職場の人間関係、保護者への対応なども5割程度となっている。



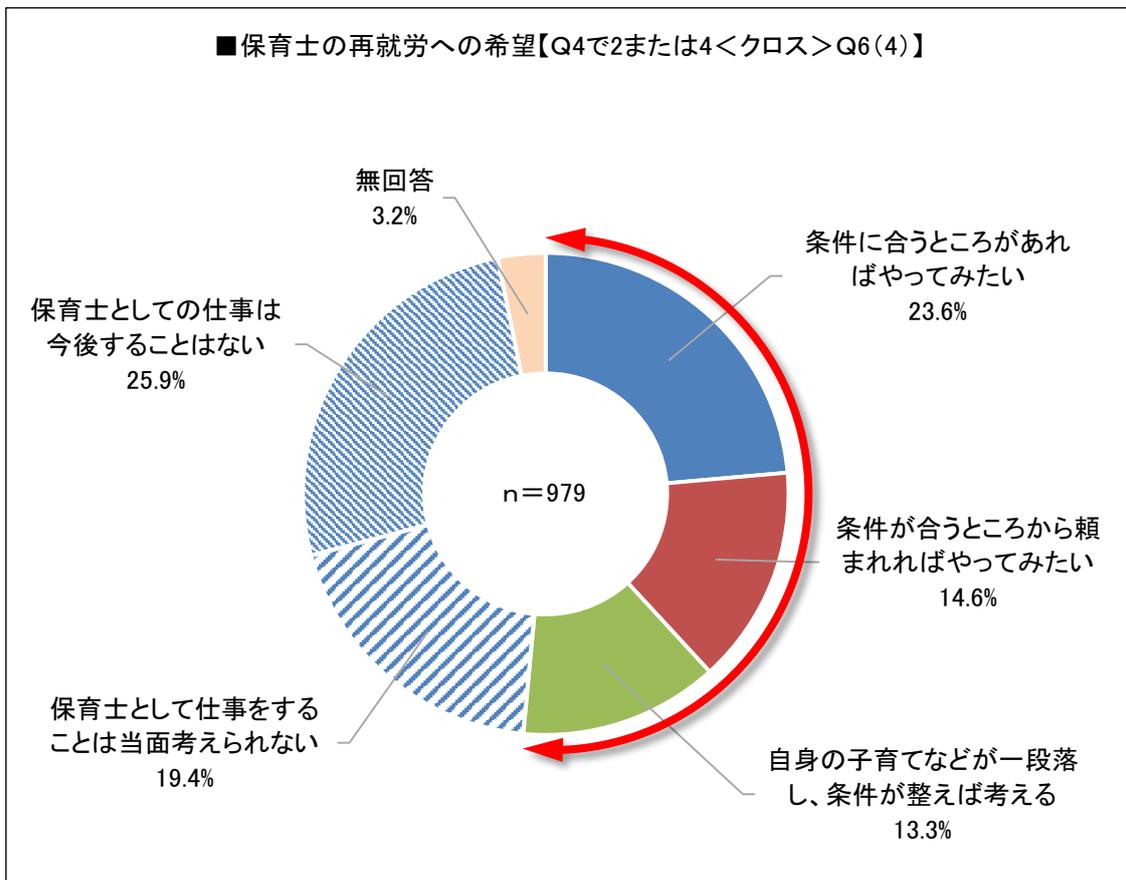
②保育士としての仕事をやめた理由

保育の仕事をやめた理由は、結婚・妊娠・出産・育児が最も多く、健康上の理由、職場の人間関係、賃金等の処遇面と続いている。その他は、定年退職、雇用契約満了、親の介護等となっている。



③保育士としての再就労への希望

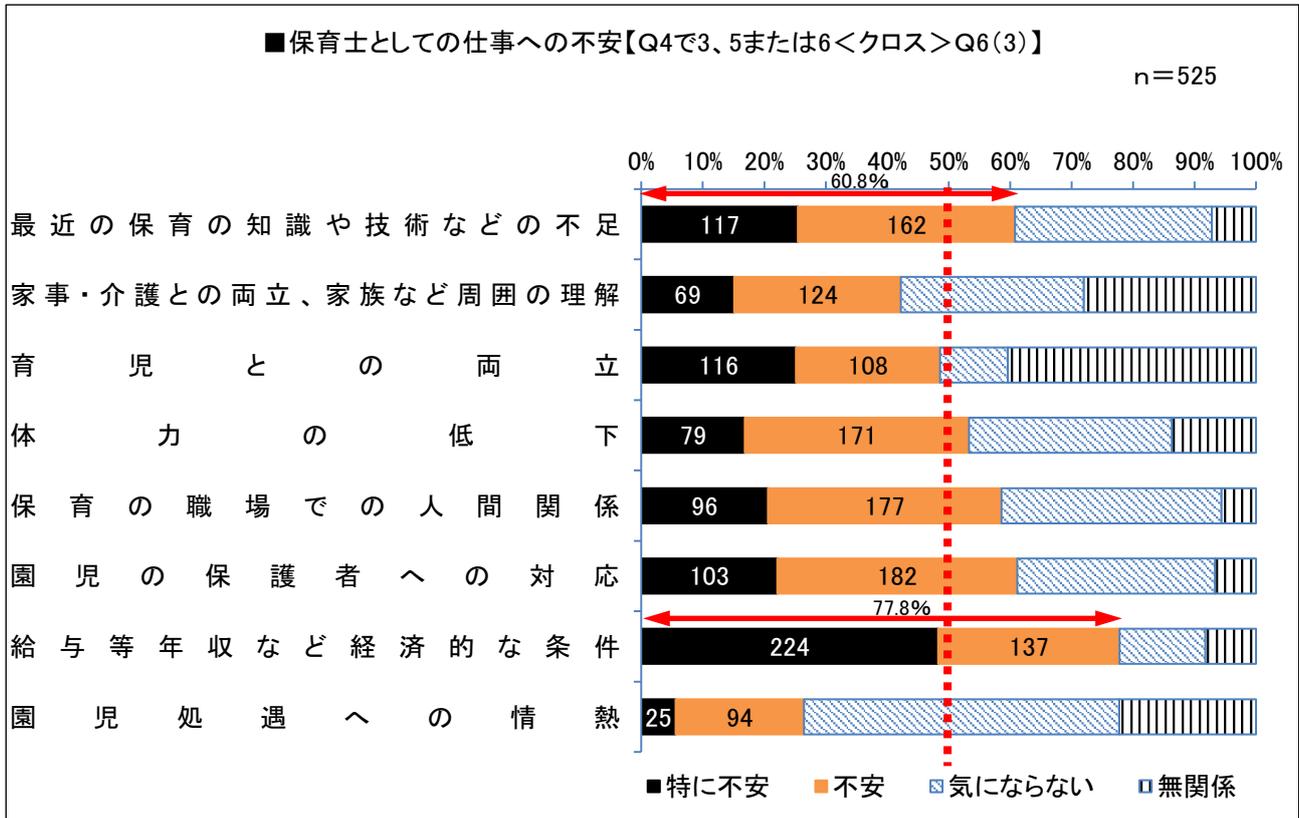
保育士としての再就労への希望は、一定程度の条件が整えば希望する方が5割程度（51.5%）となっている。



(5) 保育士として就労したことがない方の実態

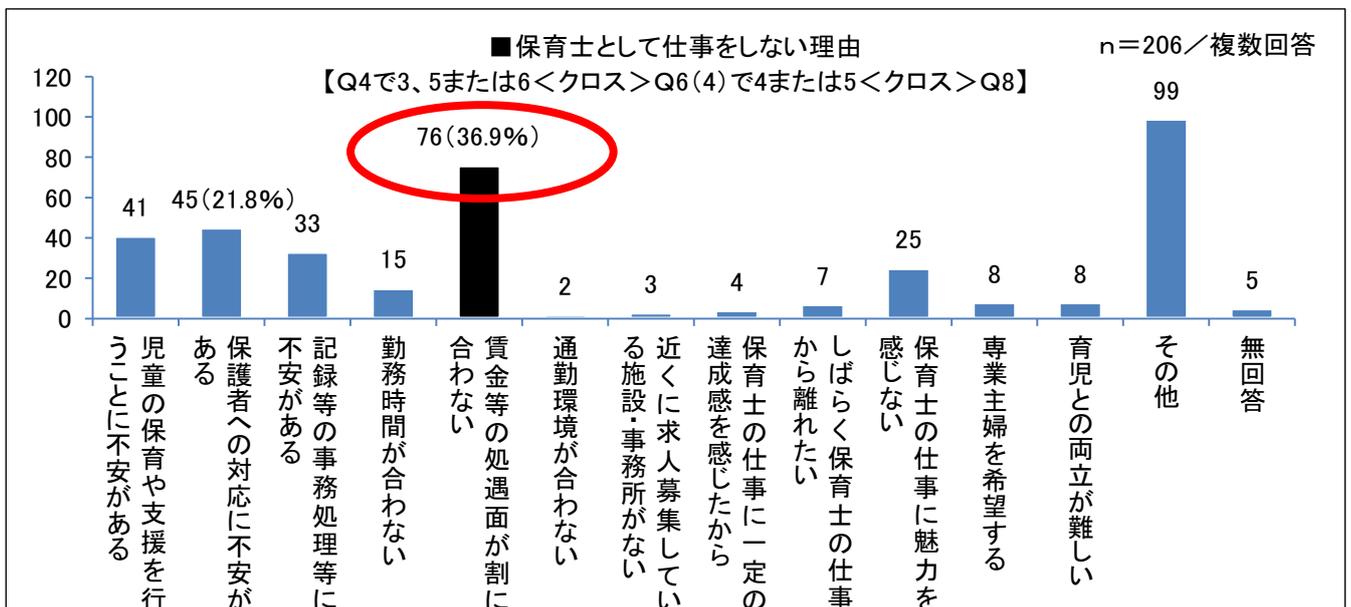
①保育士としての仕事への不安

保育士としての仕事で不安に感じていることとしては、給与面が最も多く、保育の知識や技術のほか、職場の人間関係、保護者への対応、体力低下などのほか、育児との両立、家事や介護との両立と続いている。



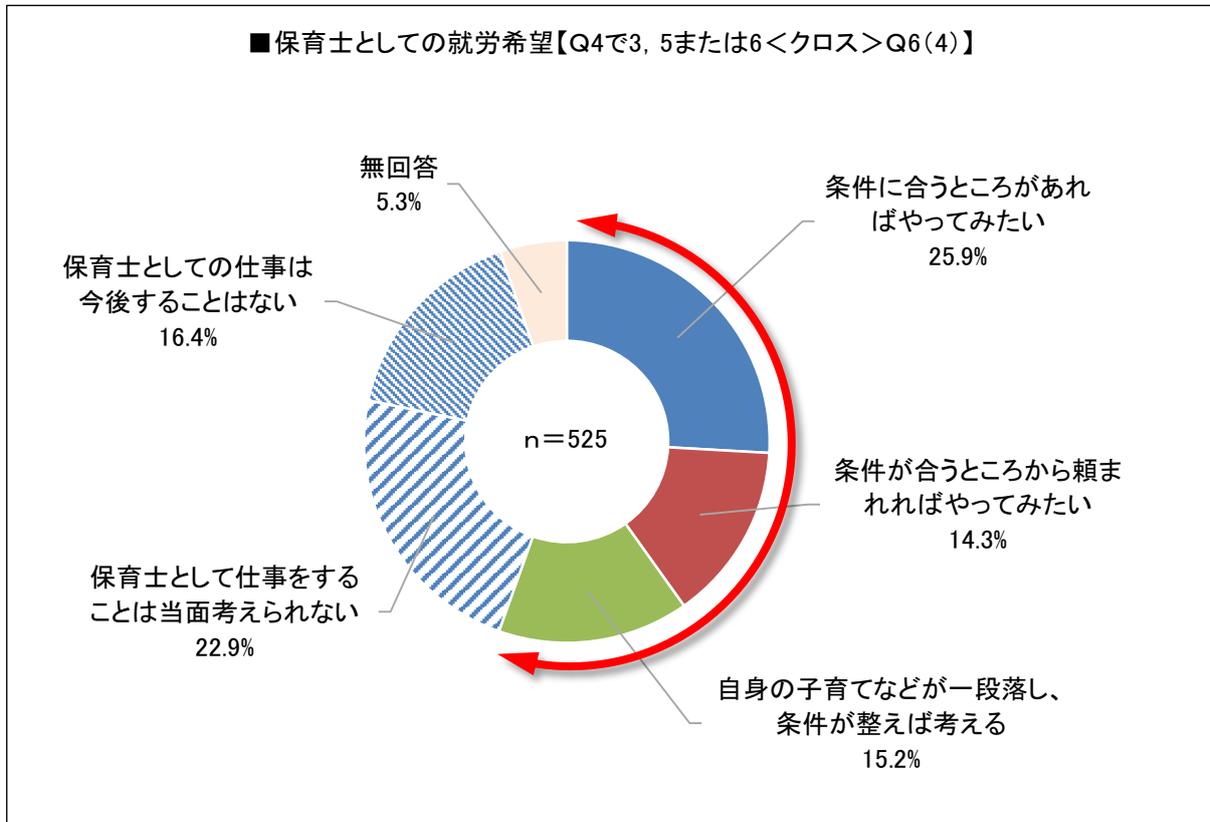
②保育士としての仕事をしない理由

保育の仕事をしていない理由は、賃金等の処遇面が最も多く、保護者への対応、保育や記録などへの不安と続いている。その他としては、年齢や体力的な理由があった。



③保育士としての就労希望

保育士としての就労への希望は、一定程度条件が整えば希望している方が5割以上（55.4%）となっている。



(6) 保育士が安心して働き続けるための取組

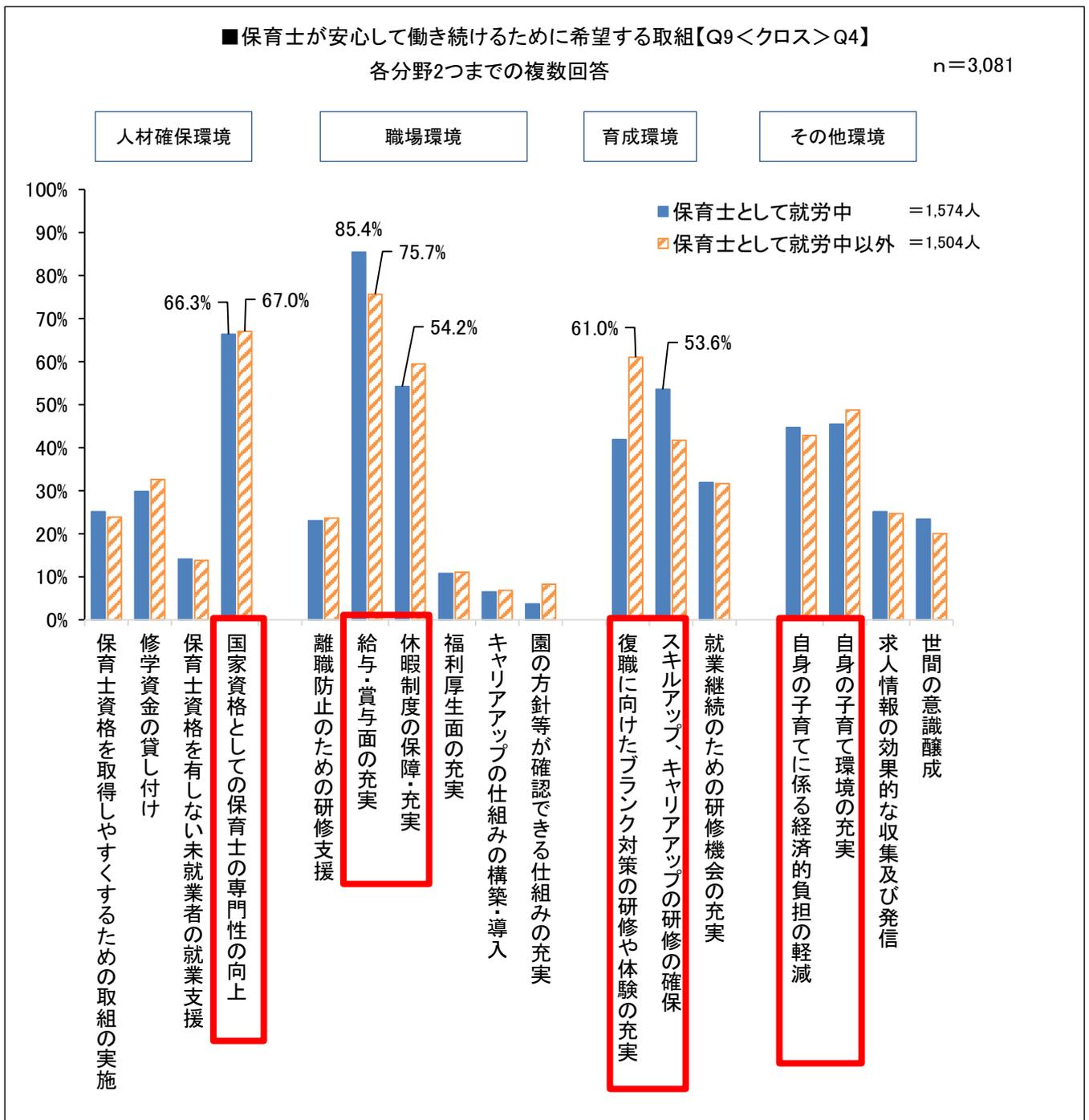
① 保育士が安心して働き続けるために希望する取組

全体で見ると、給与など処遇面の充実が必要と考えるが最も多くなっており、次いで保育士の専門性や研修の充実が必要という考えになっている。

個別にみると、人材確保環境では、国家資格としての専門性の向上（就労中 66.3%、未就労 67.0%）が最も多く、職場環境では、給与（就労中 85.4%、未就労 75.7%）や休暇面の充実が多くなっている。

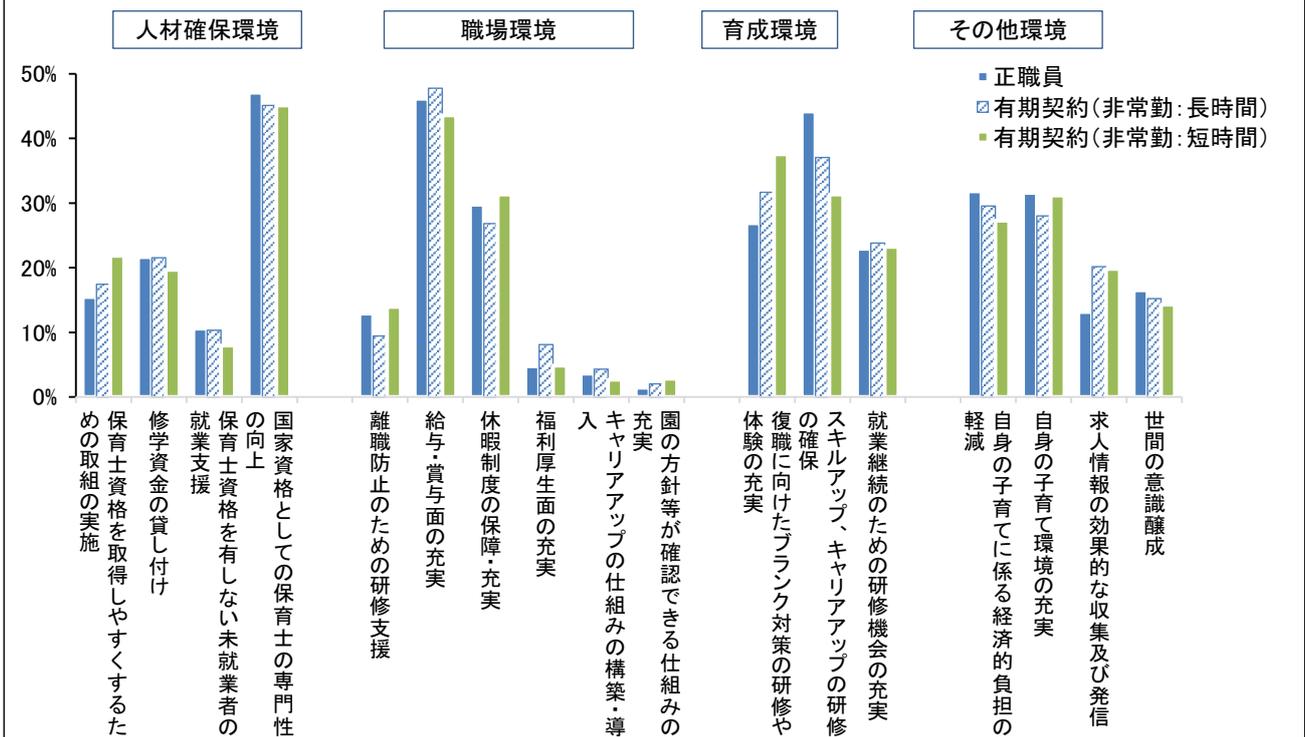
育成環境では、就労中はスキルアップやキャリアアップを望み（53.6%）、未就労はブランク対策（61.0%）が多数となっている。

その他環境では、自身の子育て負担の軽減や子育て環境の充実が必要との考えが多い。



■保育士が安心して働き続けるために希望する取組【Q9<クロス>Q5(4)】

各分野2つまでの複数回答



■保育士が安心して働き続けるために希望する取組【Q9<クロス>Q1(6)】

各分野2つまでの複数回答

